

14.21

768

14. 21-768



1200501163518

林業試驗場要覽

農林省林業試驗場編



始



14.  
2  
768

昭和十二年三月

林業試驗場要覽

農林省林業試驗場



昭和十二年三月

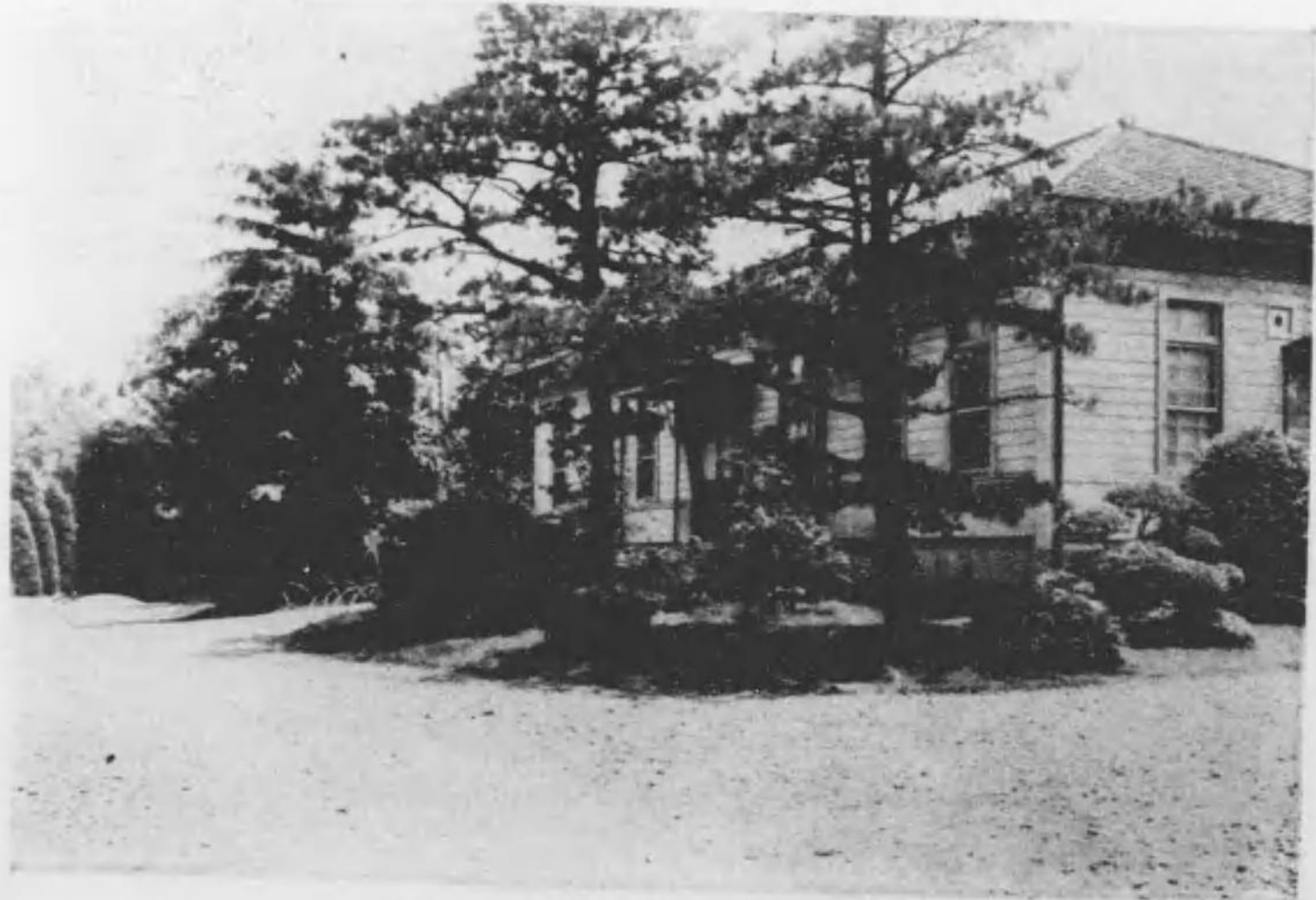
試驗場要覽

農林省林業試驗場





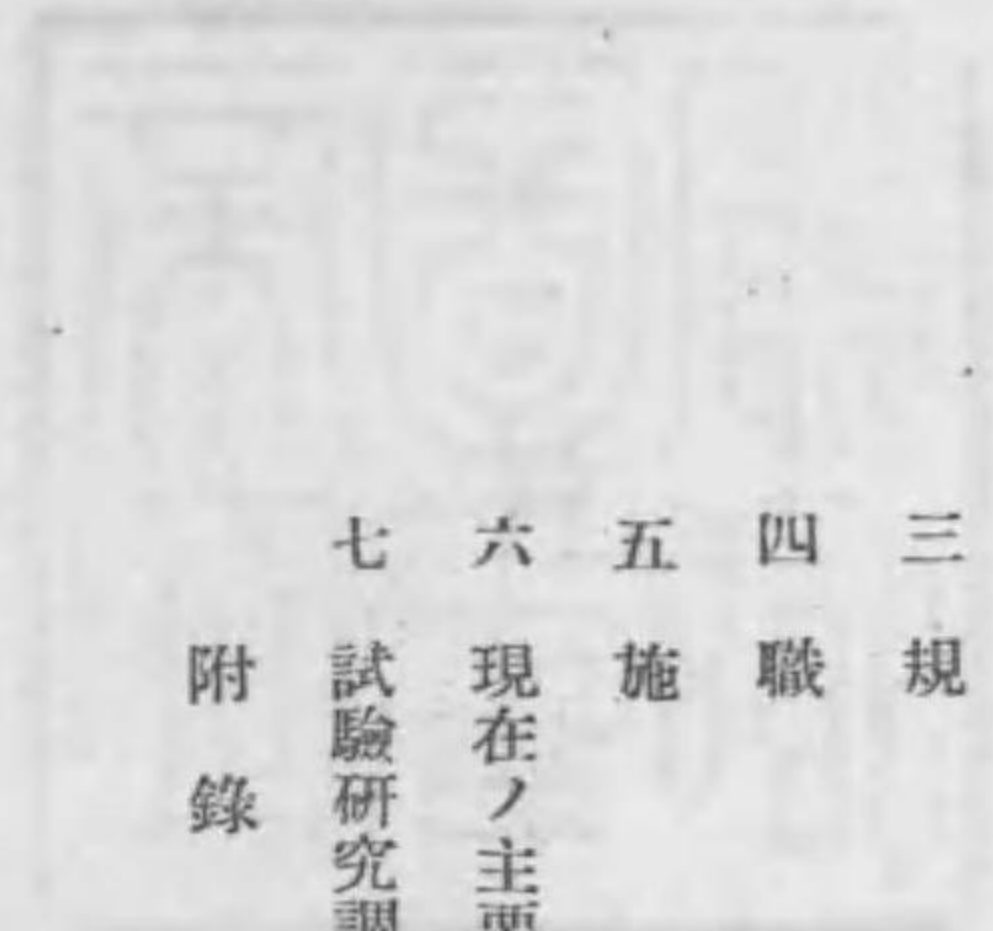
本場正門 (東京市目黒區下目黒四丁目)

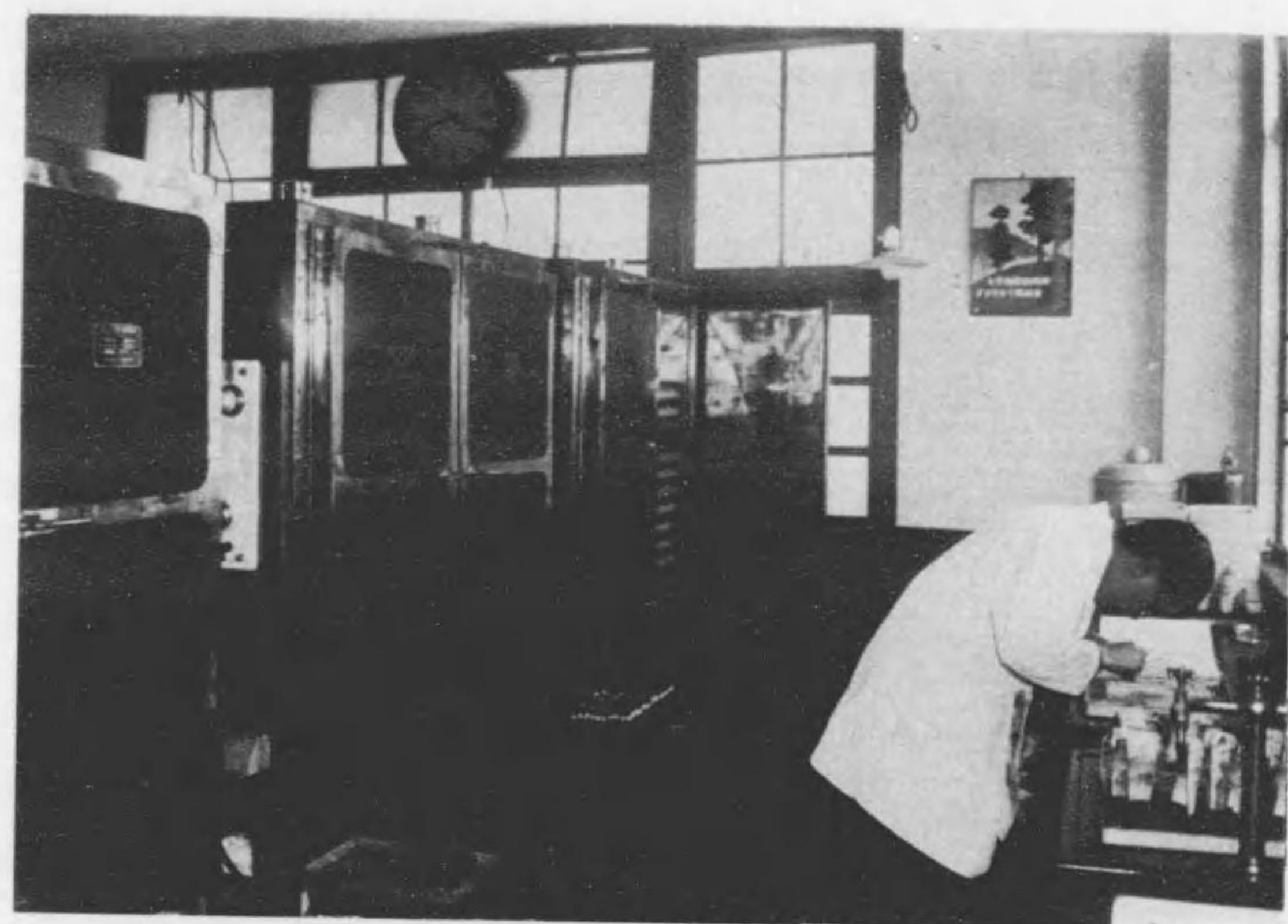


本場事務所

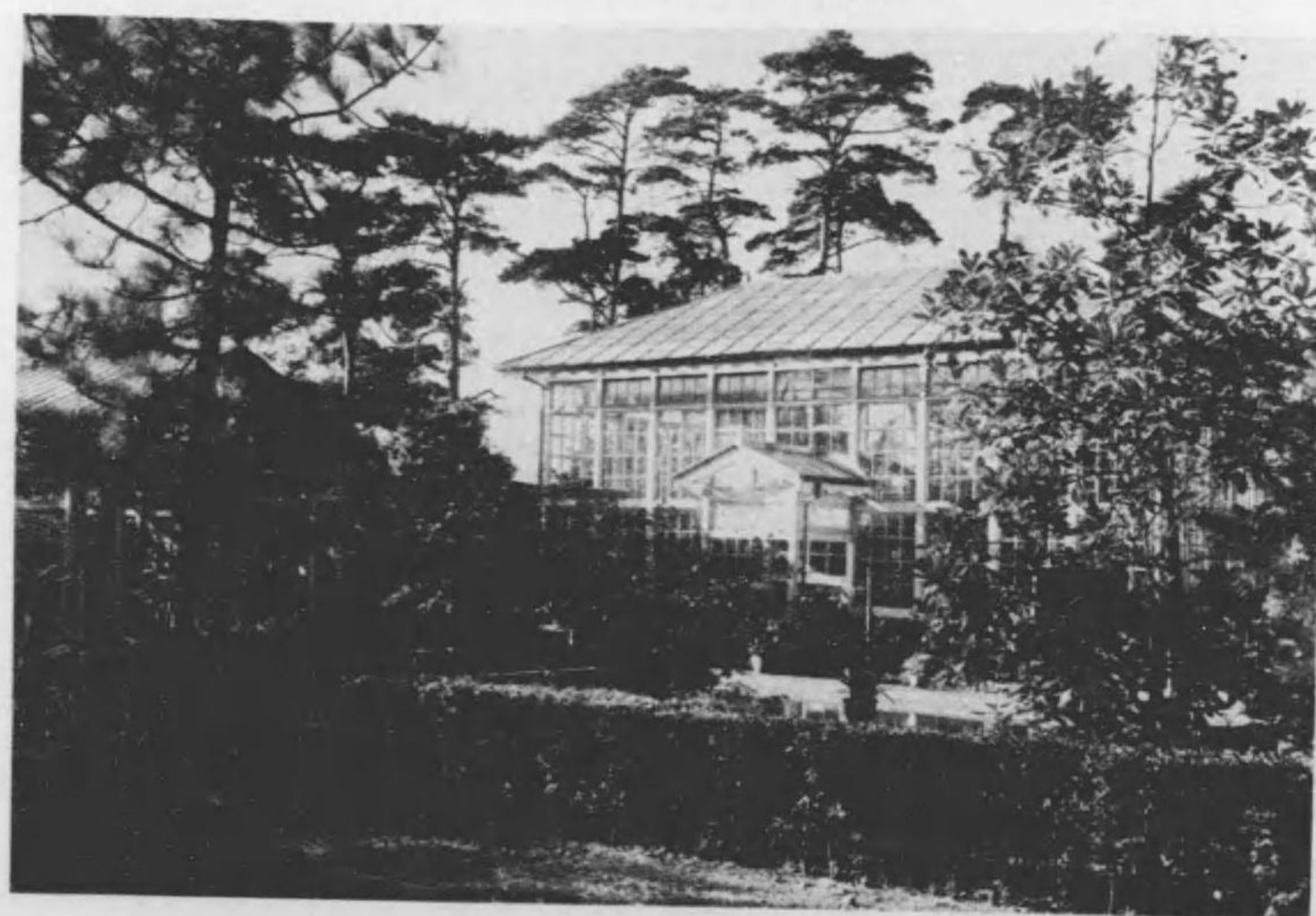
目次

一	沿革	一頁
二	官制	三
三	規程	六
四	職員	九
五	施設	一四
六	現在ノ主要ナル事業	三
七	試験研究調査ノ成績	五
附録	林業試験成績	七
	林業試験場手数料令	七
	林業試験場分析、鑑定及試験規則	三
	林業試験場林産物受託加工規則	六

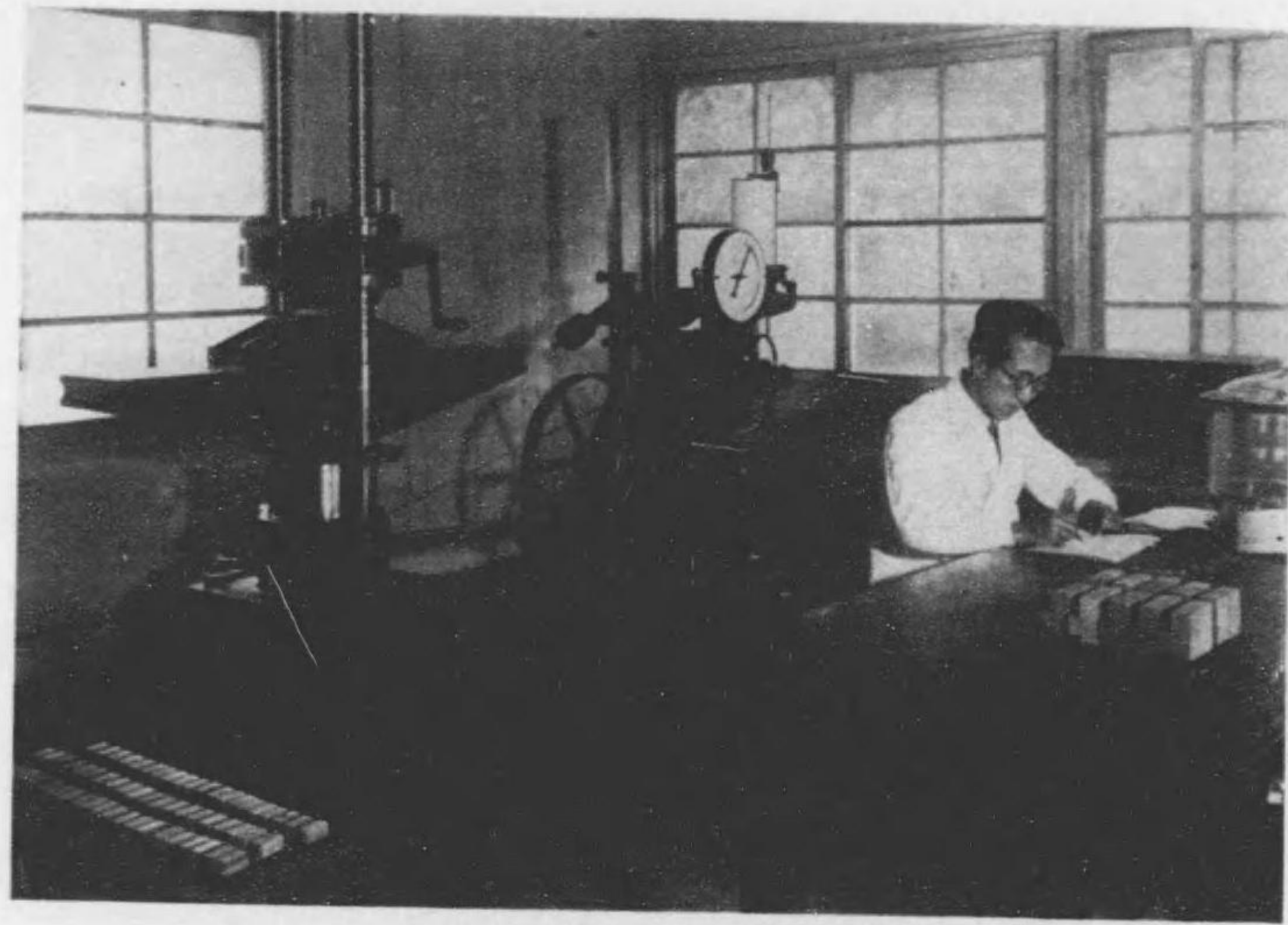




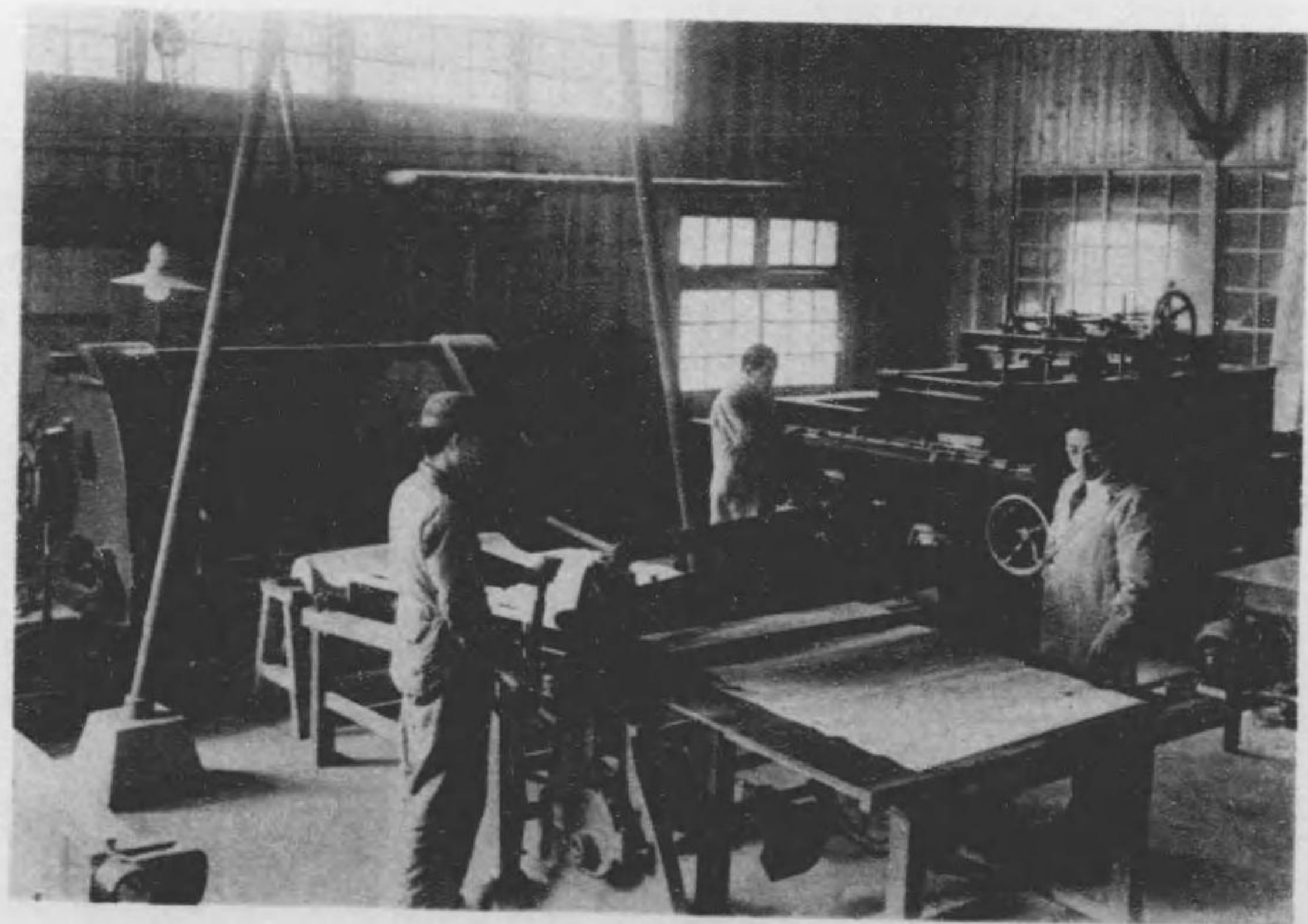
種子發芽定溫裝置



溫室



木材強弱試験機械

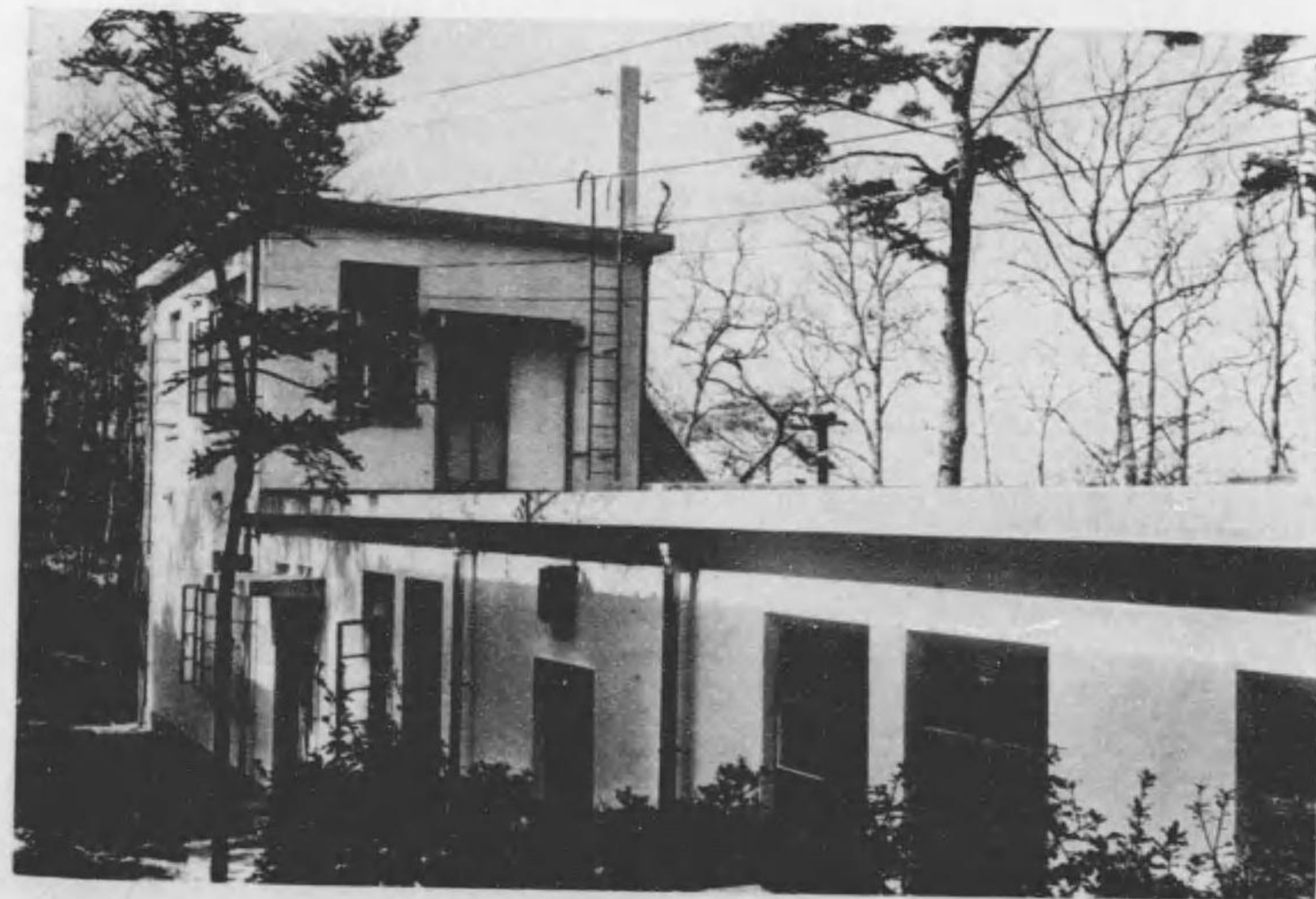


合板試験室





松脂蒸溜設備



菌類實驗室



標 本 陳 列 室



木祖森林治水試験地 (長野縣西筑摩郡木祖村) 氣象觀測露場及地表流下雨量測定設備





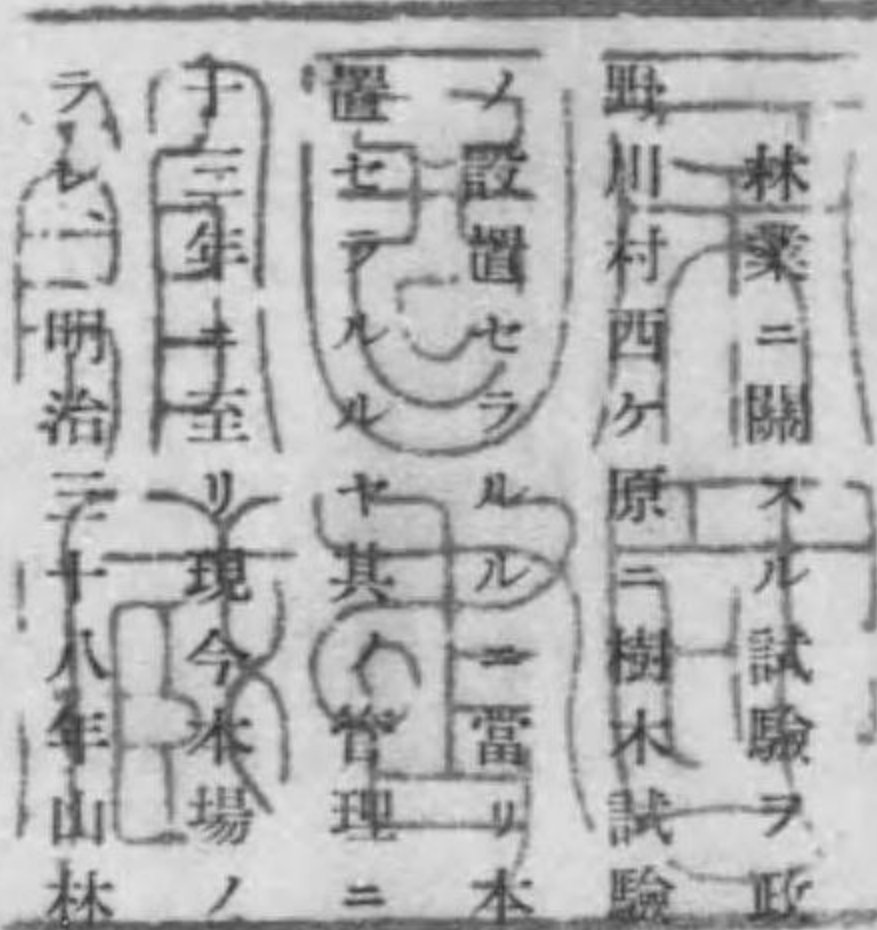
高萩出張所 (茨城県多賀郡花形村)



釜淵試験地 (山形縣最上郡及位村)

# 林業試驗場要覽

## 一 沿革



林業ニ關スル試驗ヲ政府ニ於テ施行セルハ明治十一年内務省主管ノ下ニ東京府北豐島郡瀧野川村西ヶ原ニ樹木試驗場ヲ創立シタルトキヲ以テ之カ濫觴トナス。後明治十四年農商務省ニ設置セラレルニ當リ本試驗場ハ山林局ノ主管ニ移リ、明治十六年同所ニ東京山林學校ノ設置セラレルニ當リ其ノ管理ニ屬シ、明治十九年同校ノ廢止ト共ニ再ヒ山林局ノ主管ニ歸シ、明治三十三年ニ至リ現今本場ノ位置ナル東京市目黒區下目黒四丁目ニ移轉シ目黒試驗苗圃ト名付ケラレ、明治三十八年山林局林業試驗所ト改稱シ、造林、林木ノ生長及收穫、林產物製造竝木材工藝的性質試驗等ヲ施行シ來リシカ、明治四十三年十一月ニ至リ更ニ事業ノ範圍ヲ擴張シテ山林局林業試驗場ト改メラレタリ。

明治四十四年二月茨城縣多賀郡櫛形村ニ高萩試驗地ヲ設ケ混農林業ニ關スル試驗ヲ開始シ又同年四月宮城縣玉造郡溫泉村大字鍛冶谷澤ニ鍛冶谷澤木工所ヲ設ケ我國ニ於テ蓄積豐富ナ

ルぶな、なら其ノ他ノ潤葉樹ノ利用ヲ促進スル目的ヲ以テ是等ノ樹種ニ就キ木工ニ關スル製材製作ノ試験ヲ爲シ一面ニハ其ノ製品ヲ販賣シテ之ヲ世ニ紹介シタリシカ此木工所ハ大正三年之ヲ廢止シタリ。

明治四十四年度治水事業ノ創設ニヨリ重要河川ノ流域ニ森林測候所ヲ設クルコトナリ、大正八年度中ニ豫定ノ三十九箇所ノ開設ヲ完了シ觀測ヲ實施シツツアリシモ、大正十一年度ニ三箇所、同十二年度ニ四箇所、同十三年度ニ十六箇所ヲ廢止シ昭和二年及三年度ニ於テ各一箇所ヲ廢止並新設シ更ニ同六年度ニ二箇所ヲ廢止シ残り十四箇所ハ第二期治水事業ノ開始ニ伴ヒ昭和十一年五月末日廢止シ同六月一日新ニ森林治水試験地十四箇所ヲ設置シ同年十二月末日其ノ中一ヶ所ヲ廢止シ現在ハ十三箇所トナレリ。本場ニ於テハ是等森林治水試験地ノ事務ヲ掌理ス。

林業試験ハ從來大林區署ニ於テモ之ヲ實行シ來リシカ大正七年四月ニ至リテ各大林區署ニ林業試験専務ノ職員ヲ置キテ之ニ當ラシメ又南洋及熱帶植物ニ關スル調査及試験ヲナスカ爲メ小笠原島ニ試験地ヲ設ケタリ。

大正十一年四月林業試験場官制ヲ發布セラレ仙臺及熊本ニ支場ヲ置キ又高萩及小笠原島ノ兩地ニ出張所ヲ設置セラレ茲ニ本場ノ獨立ヲ見ルニ至レリ。次テ大正十三年十二月二十日行

政整理ノ結果同官制ヲ改正セラレ仙臺及熊本ノ兩支場ヲ廢止セラレタリ。  
昭和十年潤葉樹利用開發及増進ニ關スル試験經費ノ増加セラルルニ至リ、本場ニ於テハ潤葉樹乾燥材及合板製作ニ關スル應用的試験並ニ防蟲防菌法ニ關スル基礎的研究ヲ行ヒ、又山形縣最上郡及位村大字釜淵ニ釜淵試験地ヲ設定シテ東北地方ニ豐富ナルぶな、なら材其ノ他かば、かへで、しほぢ、とねりこ等ニツキ製材、乾燥及防蟲防菌ニ關スル實地試験ヲ施行スルコトトナレリ。

## 一 官 制

林業試験場官制（大正十一年三月三十一日勅令第五百十號）

第一條 林業試験場ハ農林大臣ノ管理ニ屬シ林業ニ關スル左ノ事務ヲ掌ル

- 一 試験及調査
- 二 分析及鑑定
- 三 種苗及標本ノ配付
- 四 講習及講話

第一條ノ二 林業試験場ハ試験研究成績ノ普及促進ニ必要アリト認ムル場合ニ限り林産物

ノ加工ノ依頼ニ應スルコトヲ得

第二條 林業試験場ニ左ノ職員ヲ置ク

場長

技師 專任十三人 奏任 内一人ヲ勅任ト爲スコトヲ得

屬 專任三人 判任

技手 專任十一人 判任

第三條 場長ハ技師ヲ以テ之ニ充ツ農林大臣ノ指揮監督ヲ承ケ場務ヲ掌理ス

第四條 技師ハ上官ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル

第五條 屬ハ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

第六條 技手ハ上官ノ指揮ヲ承ケ技術ニ従事ス

第七條 農林大臣ハ必要ト認ムル地ニ林業試験場ノ出張所ヲ置キ本場ノ事務ヲ分掌セシム

ルコトヲ得

第八條 林業試験場ノ位置並出張所ノ位置及名稱ハ農林大臣之ヲ定ム

農林部内臨時職員設置制 (大正十四年三月三十一日勅令第三十九號)

第十一條 林業試験場ニ左ノ職員ヲ置ク

一、治水事業ニ關スル事務ニ従事スル者

技師 專任 一人

屬 專任十六人

技手 專任十六人

二、潤葉樹利用ノ試験研究ニ關スル事務ニ従事スル者

技師 專任 一人

技手 專任 五人

三、林産物ノ加工ニ關スル事務ニ従事スル者

技師 專任 一人

技手 專任 一人

### 三 規 程

林業試驗場處務規程（大正十一年四月六日農商務省訓令第三號）

- 第一條 林業試驗場ニ造林部、生理部、利用部、化學部、施業部、氣象部及庶務課ヲ置ク
- 第二條 造林部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一、種苗試驗ニ關スル事項
  - 二、更新試驗ニ關スル事項
  - 三、混農林業試驗ニ關スル事項
  - 四、立地ノ調査ニ關スル事項
  - 五、林木種子ノ鑑定ニ關スル事項
  - 六、種苗ノ配付ニ關スル事項
- 第三條 生理部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一、植物生理及病理ニ關スル事項
  - 二、種苗、林木及木材ニ對スル有害動植物ノ調査並驅除豫防ニ關スル事項

- 三、森林ニ對スル有益動植物ノ調査並増殖ニ關スル事項
- 第四條 利用部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一、木材ノ物理的性質試驗ニ關スル事項
  - 二、木材ノ工藝的利用ニ關スル事項
  - 三、木材ノ處理及保存ニ關スル事項
- 第五條 化學部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一、林產物ノ製造ニ關スル事項
  - 二、林產物ノ分析鑑定ニ關スル事項
  - 三、土壤及肥料試驗ニ關スル事項
- 第六條 施業部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一、森林ノ施業法ニ關スル事項
  - 二、林木ノ生長査定ニ關スル事項
  - 三、材積算定ニ關スル事項
- 第七條 氣象部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一、森林治水試驗ニ關スル事項

二、森林氣象ニ關スル事項

第八條 庶務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一、官印ノ保管ニ關スル事項

二、場員ノ進退身分ニ關スル事項

三、場内取締ニ關スル事項

四、文書ノ授受發送及保管ニ關スル事項

五、豫算及決算竝會計ニ關スル事項

六、國有財産及物品ニ關スル事項

七、他部ノ主掌ニ屬セサル事項

第九條 林業試驗場出張所ニ主任ヲ置ク

出張所主任ハ場長ノ指揮監督ヲ承ケ出張所全般ノ事務ヲ處理ス

第十條 場長處務細則、見習生ニ關スル規程又ハ出張所ノ處務規程ヲ設クルトキハ農林大

臣ニ報告スヘシ

第十一條 場長ハ毎年事業ノ成績ヲ農林大臣ニ報告スヘシ

### 四 職 員

本 場

造 林 部

場 長

技 師(兼)

藤 岡 光 長

技 師(兼)

貴 島 圭 三

同 (兼)

國 田 三 次 郎

同 (兼)

河 田 杰

同

佐 藤 敬 二

同

尾 越 豐

同 (兼)

明 永 久 次 郎

技 手

三 井 計 夫

同

工 藤 八 郎

同

小 野 陽 太 郎

同 (兼)

大 城 川 次 郎

施業部

化學部

囑託	技手(兼)	同	技師	同	囑託	同	同	同	同	同	技手	同	技師	囑託
寺崎	麻生	清野	明永久次	板垣四郎	西田屹二	藤田信夫	内田憲	田窪健次	中馬隆	羽島秀雄	永井芳雄	川村實平	辻行雄	北田義三
波	誠	要	郎	郎	二	夫	憲	郎	隆	雄	雄	平	雄	郎

一一

利用部

生理部

同	同	技手	同	同	同	同	技師(兼)	同	同	囑託	技師	同	同	囑託
松島	梅田	宮澤	泉岩	高橋	杉浦	森三	渡邊	岩成	永井	矢野	北島	柳田	牧野	豐島
也	英	吉	太	三	一	郎	全	雄	夫	幹	三	藏	郎	清

一〇

氣象部

技師兼 渡邊全

同 (兼) 玉手三葉壽

屬 奧益美

屬 神保宰雄

屬 平田德太郎

屬 朝見保

同 佐野仁

同 江原貞男

屬 水島愨郎

技師兼 大島愨郎

技師兼 齋藤美鶯

同 土屋博

同 片岡哲藏

同 杉野森夫

庶務課

釜淵試驗地

高萩出張所

小笠原出張所

森林治水試驗地

角館 技師 吉田重助 沼尻 技師 小山内秀夫

白河 技師 熊谷鐵之助 伊香保 技師 眞山利雄

木祖 技師 中根謙造 十日町 技師 勝谷稔

勝山 技師 大森宗祐 根尾 技師 武田繁後

智頭 技師 高崎廉雄 本山 技師 中野德

小國 技師 石田忠男 霧島 技師 上野己熊

矢嶽 技師 禿則之 技師 原田博明

(雇員以下省略)

技師兼 町田勇作

屬 (兼) 加藤定男

屬 岡部正義



## 五 施 設

### 一、本場

本場ハ東京市目黒區下目黒四丁目(山ノ手線目黒驛ヨリ)ニ在リ構内土地總面積ハ四萬五千三百三十八坪ニシテ用途別ヲ示セハ次ノ如シ

樹木見本園	三、八、八二三坪
試驗苗圃	三、八、八二三坪
試驗林	三、八、八二三坪
廳舍其ノ他建物敷地	五、六五四坪
官舎敷地	八六一坪

樹木見本園ハ内外國産樹木ヲ植栽シ林業上ノ参考竝一般ノ見學ニ資スルモノニシテ外國産樹種百餘種、内國産樹種三百六十餘種、竹類二十七種ヲ算ス。  
 試驗苗圃ハ各種林木種子ヲ播種シ發芽竝播種ニ關スル試驗ヲ爲シ又發育セル樹苗ニ就キ土性ニ對スル好惡、施肥ノ方法、床替等苗圃事業各般ノ手入保護竝挿木接木試驗等ヲ施行ス。  
 目下内國産潤葉樹百五十五種針葉樹三十五種外國産潤葉樹二十五種針葉樹四十六種ノ樹苗ヲ

### 養成ス。

試驗林ハ内外國産重要林木ノ生長試驗、植栽距離試驗、下木植栽試驗、天然下種試驗、枝打間伐試驗、林木種子ノ產地及遺傳性ニ關スル試驗及竹林養成試驗ノ供試林ナリ。  
 本場ニ於ケル營造物ハ六拾七棟貳千八百八拾八坪餘ニシテ其ノ主ナルモノヲ擧クレハ左ノ如シ。

廳舍	一棟	七一、〇〇	菌類培養室	一棟	三五、〇〇
門衛所	二	二〇、二五	松脂製造研究室	一	六〇、〇〇
圖書室	一	三五、〇〇	材料倉庫	二	一一八、五〇
種子鑑定室	一	二八、〇〇	治水實驗室	一	六二、五〇
植物保育場	一	一〇、〇〇	宿直室及小使室	一	二七、〇〇
硝子室	一	三〇、〇〇	講堂	一	七七、〇〇
理化學試驗室	四	一七一、〇〇	種子發芽試驗室	一	三八、七二
造林實驗室	一	一五、〇〇	種子貯藏倉庫	一	七、〇〇
電氣動力室	一	三、〇〇	植物温室	二	三四、〇〇
木材工藝試驗室	一	一〇〇、〇〇	昆蟲飼養室	一	一〇、〇〇
測候室	一	九、七五	實驗室	一	七二、〇〇
木炭瓦斯試驗室	一	二八、〇〇	電氣乾燥試驗室	一	三二、〇〇
標本陳列室	二	三〇六、〇〇	試驗材料物置	一	二四、〇〇
病理實驗室	一	一〇、〇〇	工藝實驗室	一	一六、〇〇
					一五

施業、治水、混農林業研究室	一	一五八、〇〇	合板試験室	一	八九、五〇
定温器室	一	一一、〇〇	變電室	二	八、〇〇
職員及定夫官舎	七	一五一、五〇	木材乾燥室及乾燥設備室	一	六九、三五

其ノ他貯水槽、同附屬唧筒、種子貯藏穴藏、貯水池、標本材置場、「ドラフトチェンバー」、倉庫、蒸溜室、井戸屋形、肥料溜槽、門及照明、電熱、電力、給水、瓦斯、乾燥、林外氣象觀測装置等アリ。本場構内標本陳列室等ハ一般ノ觀覽ヲ許スヲ以テ近時小學兒童、中等學校及專門學校ノ生徒學生ヲ初メトシ林業者、木材業者等ノ觀覽者年次其ノ數ヲ増加シツツアリ。

二、高萩出張所

高萩出張所ハ茨城縣多賀郡櫛形村大字友部字上臺ニ在リ、高萩營林署所在地松原町ヨリ南西約一里常磐線川尻驛ヨリ北東約十八町ニ位ス(同驛ヨリ徒歩ニ依ルヲ便利トス)。本出張所ハ主トシテ混農林業ニ關スル試驗ヲ行フ試驗地ニシテ其ノ總面積ハ百二十三町二反七畝十三步アリ。營造物ノ主ナルモノ左ノ如シ。

廳舎	一棟	一九、五〇	創跡所	一棟	四、〇〇
定夫舎	二	四九、八七	厩舎	一	三三、七五
飼料調理所	一	二八、〇〇	乾草倉庫	一	五〇、〇〇
官舎	二	五八、五〇	共同浴室	一	五、〇〇
堆肥舎	一	三三、七五			

其ノ他門、圍障、井戸、電燈下水等ノ設備アリ。

猶本出張所ニ於テハ畜産局ノ委託ヲ受ケ隣接民有地ヲ含ム約壹千町步ニ亘ル地ヲ禁獵區トナシ高麗雉ノ飼育蕃殖並放養ニ關スル試驗ヲ施行セリ。近時蕃殖甚シク附近農作物ノ被害著シキモノアルヲ以テ獵區ニ變更手續中ナリ。

三、小笠原出張所

小笠原出張所ハ東京府小笠原島父島ニ在リ。熱帶植物ニ關スル試驗地ニシテ面積二萬五百八十七坪廳舎其ノ他ノ敷地ハ百坪ニシテ其ノ營造物ハ五棟六十六坪ナリ内譯左ノ如シ。

廳舎	一棟	一一、五〇	職員詰所	一棟	一八、五〇
堆肥小屋	一	一〇、〇〇	定夫小屋	一	一三、〇〇
定夫休憩所	一	一三、〇〇			

其ノ他下水、貯水池、通信装置等ノ設備アリ。

四、釜淵試驗地

作業研究室	一棟	三五、〇〇	官舎	三棟	九〇、五〇
製材工場	一	一六〇、五〇			

其ノ他門、物置、通信装置、原動装置、傳動装置、製材装置、煙突、軌道等ノ設備アリ。

五、森林治水試験地

現在十三箇所ノ森林治水試験地ノ外水位観測所三箇所雨量観測所五箇所アリ。之等試験地ノ所在地及附属水位観測所 雨量観測所名ヲ表示スレハ左ノ如クニシテ各森林治水試験地ニ於テハ主任技手一名、雇員一名ニテ諸般ノ観測ニ従事シ雨量観測所並水位観測所ニ於ケル観測ハ森林治水試験地ニ於テ行ヒ又ハ小學校教員若ハ警察官若クハ其ノ所在地ノ篤志家ニ囑託シ之ヲ施行セシム。尙森林治水試験施設ハ今後逐年増設シテ昭和十五年度ヲ以テ完成シ、森林治水試験所五箇所森林治水試験地八箇所ト爲ス豫定ナリ。

森林治水試験地名	所在地	附属観測所名	
		水位	雨量
角館 沼尻 白河 伊保 十日町 勝山 木祖 根尾	秋田縣仙北郡角館町 福島縣耶麻郡吾妻村 福島縣西白河郡白河町 群馬縣群馬郡伊香保町 新潟縣中魚沼郡十日町 福井縣大野郡勝山町 長野縣西筑摩郡木祖村 岐阜縣本巢郡根尾村	根尾	大河原、越波

智頭 本山 小矢 霧島	鳥取縣八頭郡智頭町 高知縣長岡郡本山町 熊本縣阿蘇郡小國町 熊本縣球磨郡藍田村 鹿児島縣姶良郡牧園村	折野、塚脇	黒川、上野田 霧島神宮、大浪池
-------------	--	-------	--------------------

森林治水試験地ニ於テハ所在地ノ狀況ニ應シテ森林ト流出量トノ關係、荒廢地復舊工事ノ改善、水源涵養保安林ノ機能増進、土砂扞止林ノ取扱法、雨量、及出水通報等ノ試験調査事項中適當ナルモノ數種ヲ實施スヘキ設備ヲ爲ス外一般ニ氣象観測設備ヲ有ス。

六、試験地

間伐、天然更新、植樹、種子、海岸砂防林等ニ關シテハ全國各地ノ國有林内ニ各試験地ヲ設定シ營林局ト協同試験ヲ施行シツツアリ、今其ノ試験事項ヲ掲クレハ左ノ如シ。

一、青森營林局管内

試験事項	試験地所在營林署	試験事項	試験地所在營林署
一、種子結實ニ關スル調査	内 眞 部	一、けやきおにぐるみ人工植栽	川 渡
一、からまつ林ノ間伐	沼 宮 内	一、ひば林ノ間伐	内 眞 部
一、ひば擇伐更新法	内 眞 部、大畑	一、ひば林ノ下種伐及殿伐	内 眞 部
一、薪炭林ノ施業	仙 臺	一、天然生ひば林ノ成林及作業種	内 眞 部、川 内
一、天然生もみ林ノ成林及作業種	仙 臺	一、ぶな林ノ作業種	仙 臺、關、三本木



トナシ、創設以來是等ノ諸問題ニツキ専ラ技術的事項ニ亙リテ科學的ニ既往ノ經驗ヲ考證シ、新ナル試驗研究ヲ累ネ以テ一般林業ノ進歩發達ニ資シ來レリ。而シテ其ノ事項ハ各方面ニ亙リ多岐廣汎ナルモ就中主要ナル事項ニツキ現在ノ事業ヲ概述セハ次ノ如シ。

一、造林ニ關スル事項

造林技術ニ關スルモノ

(イ) 苗木養成法 普通ニ造林セラルルすぎひのき等ノ苗木養成法ハ古來各地ニ於テ實行セラレシ所ニシテ既ニ幾多ノ成績ヲ擧ゲタリ、然レドモ特殊ナル樹種ノ苗木養成法ハ從來試ミラレタルモノ尠シ、近時農山村ニ於ケル副業ノ指導獎勵セラルルニ及ビ特ニ有用ナル樹種ノ普及速成ヲ圖ルタメ挿木、接木等ノ試驗ニ着手シ之ガ改善ニツキ諸般ノ研究ヲ進メツツアリ。

(ロ) 海岸砂防林ノ造成 海岸砂地ノ利用及ビ飛砂防止ノタメニ海岸ニ森林ヲ造成スルコトノ緊要ナルコトハ言フ俟タズ。當場ニ於テハ特ニ顯著ナル砂丘ヲ有スル茨城縣久慈川口及鹿兒島縣吹上濱海岸砂丘地ニ試驗地ヲ設定シ海岸砂防林ノ造成ニ關スル諸般ノ研究調査ニ從事シ居レリ。目下尙繼續施行中ナルモ砂丘ノ形狀、砂丘ト風向トノ關係、砂防垣ニヨリ形成セラルル砂丘ノ形、砂丘ノ原形飛砂地ニ於ケル苗木植栽法等ニ就テハ既ニ結果ヲ明ニシ之ヲ公

表セリ。尙將來ニ對シテハ現ニ設定シツツアル海岸汀線ニ近キ砂防垣ノ後方海岸線ニ沿フ帶狀ノ區域ニ試驗植栽ヲ進ムルニ當リ、之ガ方法ヲ更ニ研究實行スルト共ニ既往植栽地ノ撫育方法ヲ細密ニ研究シテ造成試驗ノ終局ヲ確立セントスルモノナリ。

(ハ) 林分ノ撫育 林分ノ撫育中最モ主要ニシテ最モ技術ヲ要スルモノハ間伐ナリ。間伐ニ關シテハ我國各地ノ森林ニ試驗地ヲ設定シ各樹種ニ從ヒ各地方ノ事情ニ應ジ最モ適スルト思惟セラルル間伐法研究セラレタリ。間伐試驗ハ當林業試驗場ニ於テ豫メ規定セラレタル間伐ノ方式即チ指定セラレタル樹木ノ伐採ニヨリ夫々現出スル所ノ間伐、所謂B種中庸度間伐、C種強度間伐及D種上層間伐ヲ施行シテ之ガ森林ノ林分材積生長並ニ形質ニ及ボス影響ヲ調査スルモノトス。前記試驗地ノ多クハ二回乃至三回ノ間伐ヲ繰返シ、中ニモ淺間山麓ノからまつ林内ニ設定セラレシ間伐試驗地ハ既ニ五回ノ間伐ヲ繰返シ顯著ナル結果ヲ示シ居レリ。而シテ既往ノ試驗成績ニヨリB種、C種、D種ノ間伐ハ林分地位ニヨリ夫々施行スベキ個所ガ自ラ決ルベキモノナルコトガ分明セルハ顯著ナル收穫ナリ。今後ハ間伐木選定ニ品種ノ考ヲ入レ、從來ノ如ク單ニ外部ニ表ハレタル樹形ノミニ依ラズ品種ヲ考察シ、其ノ林分ノ伐期ト考ヘ合セテ間伐木ヲ選定スル方法ニヨリ本試驗ヲ進メ行ク方針ナリ。

造林技術ノ科學的基礎ニ關スルモノ

## (一) 森林樹木ノ生態學的研究

(イ) 土壤及肥料 本邦ニ於ケル主要造林樹種ニ就キ、其ノ幼時ニ於ケル生育ト土壤性質ノ關係及其ノ根系ノ發育ト土壤ノ機械的組成ノ關係ヲ試驗シ、樹種ニヨル差異ヲ明ニシ、更ニ窒素肥料ノ施肥時期、礦物質成分ニ對スル樹種別要求度並ニ酸性土壤ニ對スル樹種ノ抵抗性ニ關シ、試驗研究ヲ行ヒ、夫等業績ヲ發表シ、以テ苗圃經營及適地適木選定ノ指針ヲ與ヘタルガ尙現ニ試驗研究中ノ主ナルモノハ、主要造林樹種及特用樹種ノ立地ノ要求度ニ關スルモノ、人工植栽林ニ於ケル地力ノ減退ト之ガ對策及人工植栽成績不良林ノ生長促進ニ關スル技術的並ニ經濟的研究等ナリ。

(ロ) 樹種ノ氣候馴和及適應 林木種子ノ產地及遺傳性 富士山麓ノあかまつ造林ニ就テ研究報告發表セラレタリ。前者ニテハ林木種子ノ產地及其ノ種子ヲ採取セシ母樹ノ老幼ガ之ヨリ生ゼシ林木ノ生育ニ及ボス影響ヲ明ニシ、後者ニ於テハ富士山麓ニ造林セシあかまつノ造林成績ノ不良ナル所以ハ其ノ造林木ノ種子ノ產地ノ缺陷ニ基クモノナルコトヲ明ニセリ、ソレ故造林セントスルニ當リ考慮スベキ第一要件ハ種子及苗木ノ產地ヲ明確スルノミナラズ、其ノ產地ニ應ジテ配給區域ヲ豫メ劃定シ置クノ要アリ、然レドモ造林學の見地ヨリ最モ合理的ナル種子及苗木配給區域ヲ劃定スルニハ更ニ多數ノ材料ヲ基礎トシタル研究成績ヲ必要

トスルガ故ニ目下之ガ試驗繼續中ナリ。

## (二) 種子學ニ關スル事項

林木種子ハ農作物ノ種子ト異リ、其ノ結實ニハ一定ノ周期アリテ種子ノ品質ハ主トシテ之ニ支配セラルルヲ以テ、其ノ品質ノ檢査ト之ガ完全ナル貯藏法ノ研究トハ造林上緊要缺クベカラザルモノナリ、此ノ點ニ關シ、既ニ多數ノ試驗及ビ調査成績ヲ公表セリ。

又種子ニヨリテハ普通ノ状態ニ於テ播種ノ當年ニ發芽セザルモノ尠カラズ、之等種子ノ發芽遲滯ハ諸種ノ原因ニヨルモノニシテ、其ノ發芽ノ爲ニハ特殊ノ操作處理ヲ要スルモノ尠カラズ、從來之等ノ事項ニツキ研究シ發芽促進ノ方法ヲ闡明セリ。

元來林業ガ從來ノ經驗的範圍ヲ脱シテ科學的ニ統制セラレ、秩序的ニ大規模ニ造林ガ施行セラルルニ及ビ第一ニ逢着スル問題ハ種子ニ關スル事項ナリ、蓋シ近時ノ造林ニハ從來ニ比シ、多數ノ樹種ヲ要求シ之等樹種ニツキ種子ノ性質ヲ明ニスルノ要アルヲ以テナリ。

即チ種子ハ樹種ヲ異ニスルニ從ヒ夫々其ノ特性異ナルガ故ニ適當ナル處理方法モ多岐ニ亘ルモノナレバ夫々ソノ特性ニ應ジ、其ノ取扱ヒ方法ヲ更ニ研究スルノ要アリ、又近時種子ノ品種及ビ系統ノ漸ク注目セラルルニ至リ之ガ造林上ニ應用スルコトノ重要性ニ鑑ミ、優良ナル母樹ノ選擇ニツキ目下研究繼續中ナリ。

## 二、林産物利用ニ關スル事項

二六

### (二) 木材ノ工藝的性質及應用

(イ) 木材ノ強度 本邦産内國樹種及外國樹種ノ全般ニ亙リ木材ノ強度殊ニ曲ゲ應力、彈性係數、壓縮應力、引張應力、振リ應力、硬度、韌性、割裂性、曲從性等ヲ測定シ一般木材利用者ノ參考ニ資シツツアリ。又同一樹種及外觀類似セル材ニシテ其ノ産地ヲ異ニスル爲或ハ樹種ヲ異ニスル爲ニ其ノ機械的性質ニ格段ノ差アルモノアリテ、往々木材取扱業者ノ選擇ニ迷フモノ尠シトセズ、故ニ産地ヲ異ニスル同一樹種或ハ特殊ナル近縁樹種ヲ一括シテ其ノ強度比較ヲ行ヒ以テ各地産材ノ特色ヲ闡明シ、或ハ類似材中、特異ナル性質ヲ探究シテ業者ノ指針ヲラシメント努メツツアリ。

(ロ) 木材ノ理學的性質ニ關スル試験 とねりこ屬及かば屬等ノ同屬中ニ有用ナル種類多キ樹種ヲ選ビ、其ノ材ノ識別ヲ便ナラシムル爲ニ其ノ木材組織ヲ探究シ、又木材浸出液ノ螢光現象ヲ研究シツツアリ。

(ハ) 木材利用ニ關スル試験 本試験ハ木材利用ノ實際ニ直接關係深キ試験ニシテ、輒近最モ必要トセラルル潤葉樹材ノ利用開發ニ關シテハ特ニ試験施設ヲ整備シ、目下本場ニ於テハベニヤ合板ノ製作試験、曲木ニヨル洋杖製作試験、すき材ノ硬化ヲ目的トスル特殊加工等ヲ行ヒ

山形縣最上郡及位村釜淵ニ於ケル試験地ニ於テハ潤葉樹材ノ製材試験ヲ行ヒツツアリ。

(ニ) 木竹材規格 針葉樹材ノ規格ニ關スル研究ノ結果ハ現行商工省告示トシテ規定セラレタル木材規格トシテ大成セラレタルトコロナルモ、更ニ其ノ後ノ研究結果ニヨレバ之ガ一部改正ヲ期待スルニ至レリ。潤葉樹材及竹材ノ規格ニ就テモ研究中ニシテ現在略其ノ規格草案ヲ得ルニ至レリ。

尙釜淵試験地ニ於テハ、本場ニ於ケル潤葉樹材ノ乾燥、合板製作及防蟲防菌ニ關スル試験研究ト相俟テ、我邦ニ豐富ナル潤葉樹材ニツキ次ノ事項ヲ調査研究ス。

#### 一、資材丸太ノ貯木法

#### 二、製材木取法

#### 三、製材歩止リ並功程

#### 四、製材機械ノ性能

#### 五、天然並人工乾燥法

#### 六、其他製材工場經營ニ關スル實際問題

二七

## (二) 林産物ノ化學的利用ニ關スル試驗

(イ) 松脂ニ關スル試驗 我國ニ於ケル松脂ニ關スル試驗ハ既ニ十數年以前ヨリ行ハレタルモ充分徹底スルニ到ラザリキ。然ルニ最近當場ニ於テ其採取及分餾方法ニ改良ヲ加ヘ良質ノ「ロジン」及ビ「テレピン油」ヲ製造シ得ルニ至リタルヲ以テ、昭和十一年度ハ松脂採集事業獎勵ノ意味ヲ以テ約十二種ノ生松脂ヲ無償ヲ以テ分餾ヲ行ヒ、且ツ販賣ヲ斡旋シタルガ昭和十一年度ハ一疋ニ付キ七錢ノ手數料ヲ徵スルコトトシ生松脂處分豫定數量モ逐年増産ノ見込ナリ。

(ロ) 木炭ノ特殊利用ハ最近木炭ノ用途ニ一大新生面ヲ齎シツツアル活性炭ヲ樵及ビ杉ノ樹皮ヨリ優良ナルモノヲ作り得タルヲ以テ、進デ中間工業的ニ試驗ヲ行ヒツツアリ。其他屑炭ヲ利用シ家庭燃料用トシテ種々ノ形狀ヲナス成形炭ノ試製、樹實ノ簡易食品化ニ就テノ試驗、及ビ森林植物ノ特種成分利用ノ研究等ヲ繼續シツツアルガ、就中最近、紫金牛科植物ノ樹皮又ハ材ヨリ、蠅虫及蟻虫ニ對シ驅虫性强キ新化合物ヲ抽出シ「ラパノン」ト命名シ、其ノ化學的研宄並ニ動物試驗ヲ行ヒツツアリ。

## (三) 副産物ノ繁殖及應用ニ關スル事項

(イ) 食用菌蕈類ノ培養及蕃殖 人工栽培用食用菌種ノ純粹培養ヲ行ヒ已ニ椎茸、なめこ、榎茸等

ニ就テハ之レガ培養及實地栽培試驗ヲ完成シテ培養菌種ヲ希望者ニ配布シツツアリ。其ノ他まひたけ、しろきくらげ、しめぢ、まつだけ、むきたけ、ひらたけ、きくらげ等ノ純粹培養ヲモ行ヒ之レニ依ル實地栽培試驗ヲ進メツツアリ。

## 三、森林保護ニ關スル事項

森林樹木ノ種子、樹木又ハ木竹材ニ對スル有害動物並菌類ノ種類、習性其ノ他被害ノ原因徴候等ヲ調査シ之ガ驅除豫防ヲ講ズルモノニシテ、例ヘバ

(イ) 桐樹ノ病害 桐樹栽培上最モ重要ナル腐爛病及炭疽病ニ關シ山形、岩手兩縣下ニ防除試驗地ヲ設定シテ有効適切ナル防除方法ニ就キ實驗シツツアリ。

(ロ) あかまつ材青變防止試驗 あかまつ丸太及板材ノ青變防止ニ關シテ青森、岩手兩縣下ニ於テ實地變色防止試驗ヲ實施シ簡易ニシテ效果のナル防除方法ニ就キ研究ヲ進メツツアリ。

(ハ) 竹類ノ病害、竹製品ノ防菌、各地ひば材ノ耐朽性、ひば飛腐被害材ノ耐朽性、小角材ノ耐朽性等  
(ニ) 松ノ害虫ノ習性及驅除法 金龜子ノ分類及驅除法、木材ノ海虫害耐久試驗、木竹材ノ害虫等ニ關シ研究中ニシテ尙森林害虫圖譜、樹木寄生菌類圖譜等ノ材料ヲ調査中ナリ。

## 四、森林ノ施業ニ關スル事項

森林ノ造成ノ爲ニ行フ各種ノ作業ノ系統的節制ニ必要ナル體系ノ確立並ニ生産材ノ測定ニ



必要ナル材積表ノ調製、森林ノ施業ノ基準ヲナス收穫表ノ調製中ニシテ尙天然林及人工林ノ收穫試驗、薪炭林ノ施業改善試驗等ヲ施行中ナリ。

#### 五、混農林業ニ關スル事項

本邦内地及北海道ニ於テハ現ニ約三百五十萬町歩ノ原野存在ス。土地狹隘ナル我國ニ於テ斯ノ如キ廣大ナル面積ヲ不生産的ニ使用スルノ不合理ナルハ言フ俟タズ。混農林業研究ノ對象ハ此ノ原野ノ集約的利用ヲ主トシ、既ニ發表セラレタル研究業績ニ原野草類ノ改良、牛馬放牧ノ林野ニ及ボス影響、原野火入ニ關スル試驗等アリ。牛馬ノ放牧ニ關シテハ實際ニ原野ニ牧養シテ牛馬一頭當ニ要スル放牧面積ヲ明ニセリ。放牧面積ニ就テ高萩出張所ニ於テ調査セル所ニ依レバ、牝馬一日ノ生草消費量ハ約十貫目ニシテ之ヲ原野ニ放牧スル場合ニ其ノ地方反當百貫ノ生産ヲナスモノトセバ一頭當二町四反ノ原野ヲ要スルコトナル。是等ノ數値ハ原野ヲ放牧以外ノ用途ノ爲ニ利用スルニ當リテ其ノ利用區分ヲ立ツル上ニ於テ非常ナル貢獻ヲナセリ。次ニ原野ノ火入ハ從來各地ニ於テ放牧採草ノ爲ニ必要ナル手段トシテ年中行事ノ觀アリシモ、試驗ノ結果火入ハ何等益スル所ナク却テ著シク土地ノ生産力ヲ減損スルコト闡明セラレタリ。植物生態學ガ造林上ニ寄與シタルト同様混農林業ノ上ニモ著シキ貢獻ヲナセリ。即チ原野草類ノ改良ニ當リテ其ノ荒廢ノ程度ヲ知ルコト必要ニシテ之レガ指針トナルベキ檢知植

物ノ研究探索、原野ノ施業單位トナルベキ植生ノ種類及其ノ多寡ニヨル原野ノ分類等現在及將來ノ主要ナル研究事項トナリ居レリ。

#### 六、森林氣象ニ關スル事項

一般氣象觀測ノ外特ニ森林ト氣象要素トノ關係、山岳地方ニ於ケル降水量ト出水トノ關係、森林ト流水トノ關係等治水關係ノ基本事項ノ觀測研究ヲナシ其ノ他植物ノ環境因子トシテノ氣象觀測ヲナシツツアリ。又第二期治水事業ノ更始サルルニ及ビ昭和十一年森林治水試驗地ノ設置ヲ見、水源涵養保安林ノ機能増進、土砂扞止林ノ取扱、荒廢地復舊事業ノ改善、積雪防止、雨量及出水通報、森林氣候、地形氣象、河川流量調査等、治水事業ノ技術並ニ林業氣象ニ關スル各般ノ事項ニ就キ試驗調査ヲ行ハントシツツアリ。

#### 七、林業參考品ニ關スル事項

林業參考品トシテ現今備付ノ標本ハ木竹材見本、各種材鑑、森林副産物、加工品、動植物標本、狩獵産物、林業ニ關スル器具器械、模型、寫眞、圖畫等ニシテ、此等ハ山林局在來ノモノ、帝室博物館ヨリ寄贈ヲ受ケタルモノ、及本場設立以來蒐集シ又ハ寄贈ヲ受ケタルモノナリ。現在標本ノ種類員數ハ左ノ如シ。

一 木竹材見本及材鑑類

- 木 材(本邦産) 一、五六三(内地、北海道、小笠原、沖繩、臺灣、朝鮮、樺太産針葉樹材、闊葉樹材及竹材等)
- 同 材(外國産) 一、五五(支那、印度、暹羅、北米、南洋産木材)
- 材 鑑(本邦産) 一、七二〇(内地、北海道、小笠原、沖繩、臺灣、朝鮮、樺太等建築、裝飾、器具其ノ他用材見本)
- 同 材(外國産) 一、三三七(支那、印度、暹羅、露領沿海州、歐洲、北米、南洋、西比利亞産材鑑)
- 加工 材(本邦産) 八、九九(磨丸太、各種ノ板、船具材、樽材、枕木等用材)
- 同 材(外國産) 二、六四(薄板、染色木板、三原色板、「ラック」塗研出見本板等)
- 同 材(外國産) 一一(埋木材等)
- 同 材(外國産) 一、六三

一 森林副産物並製品及加工品

- 副 産 物(本邦産) 二、六〇(菌茸、樹脂、單寧製造及製繩用樹皮、編物用纖維、食用種實等)
- 同 産 物(外國産) 七、一四(菌茸、樹皮等)
- 製 造 品(本邦産) 二、八六(製紙用「パルプ」、單寧類、種實油類、染色劑、澱粉、樟腦、木炭等)
- 同 産 物(外國産) 八、二(護謄、澱粉、線香等)

- 加工 品(本邦産) 一、一六五二(各種錠作物、彫刻物、指物、寄木象嵌類、漆器素地、額面、經木等)
- 同 産 物(外國産) 一、一三二(獨、埃國寄木細工、絲鋸細工、燒畫細工、支那器具等)

一 森林動植物標本及狩獵産物

- 林 木 種 子(本邦産) 一
- 同 産 物(外國産) 一、五六
- 藥 用 植 物(外國産) 二、五〇〇(菌茸類及寄生病害菌)
- 草 本 腊 葉(本邦産) 八、二(同上)
- 菌 類(外國産) 二、四七
- 鳥 獸 類(本邦産) 五、〇〇
- 同 類(外國産) 八
- 狩 獵 産 物(本邦産) 二〇一(毛皮、羽翹、骨角等)
- 同 産 物(外國産) 四〇
- 林業ニ關スル器具器械類 一、一五(測竿、撓曲尺等)
- 測量及測樹用器具(本邦産)

- 同 (外國産) 一一 (卷尺、測線器、輪尺等)
- 造 林 用 器 具本邦産 四一 (鎌、鋸、案内棒、種子採集器等)
- 同 (外國産) 四九 (獨、塊其ノ他ノ鎌、鋸、熊手、穿孔器、剪刀、噴霧器等)
- 伐木造材運材用器具本邦産 一一一 (各地慣用鋸、斧、鉈、皮廻シ、木馬、鷹口等)
- 同 (外國産) 二九 (獨、塊其ノ他ノ鋸、斧等)
- 狩 獵 用 器 具本邦産 一七 (本邦舊時代ノ獵具)
- 同 (外國産) 一
- 雜 具本邦産 一八七 (漆採集器、樟木羽削斧等)
- 同 (外國産) 九三〇 (獨、塊國製指物、燒畫道具其ノ他護謨搥器等)
- 一 圖案簿表模型寫真類
  - 圖 案 簿 表 四二六 (森林植物帶圖、森林樹木圖譜、菌類圖、林木生長曲線圖) 施案圖表等
  - 模 型 四二 (矢立、内眞部國有林施業模型、木曾運材裝置模型、深川) 御料貯木場模型、牧野施業模型等
  - 寫 真 七八二 (林相、砂防工、造林伐木運材其ノ他、獨、塊、米、支等) ノ森林ニ關スル寫真
- 一 雜
  - 圓 盤 截 口 材 一九



賞牌額面陳列棚等

一、〇〇〇

其ノ他林木種子及林木腊葉

- 林 木 種 子本邦産 三、二〇〇
- 同 (外國産) 一、三三〇
- 林 木 腊 葉本邦産 九、四〇〇
- 同 (外國産) 三、七〇〇

七 試驗研究調査ノ成績

試驗研究調査ノ成績、氣象觀測ノ結果ハ其ノ都度之ヲ取纏メ刊行シツツアルガ今日迄刊行シタルモノ次ノ如クニシテ其ノ内容ハ別項林業試驗成績ニ掲載ス。

- 一、林業試驗報告 (明治三七年一〇月第一號—昭和一一年七月第三五號)
- 一、林業試驗彙報 (大正九年七月第一號—昭和一二年二月第四二號)
- 一、森林測候所報告 (大正三年一二月第一號—昭和一一年三月第二三號)
- 一、森林測候所特別報告 (大正三年一二月第一號—大正一二年八月第一〇號)
- 一、森林治水氣象彙報 (大正一二年二月第一號—昭和一〇年三月第一五號)

# 林業試驗成績

(試報—林業試驗報告、試彙—林業試驗彙報、氣象—氣象彙報、森林測候所報告、測特—森林測候所特別報告)

目次	頁
一、造林ニ關スル試驗及調査事項	完
土壤及肥料	完
樹木生理	完
植生	完
天然更新	完
種子及苗木	完
播種造林	完
植樹造林	完
撫育	完
外國樹種	完
砂防造林	完
二、林產物ノ利用ニ關スル調査及試驗事項	完
一、木材ノ利用ニ關スル調査及試驗事項	完
木材ノ組織	完
木材ノ性質	完
木材ノ強度	完
木材ノ理化學的性質	完
木材ノ耐久性	完
木材ノ工藝的性質	完
木材ノ處理	完
立木卷枯	完
木材ノ乾燥	完
木材ノ壞滅防止	完
木材ノ着色及染色、脫色	完
木材ノ塗裝	完
合板及木材ノ膠着	完
木材規格	完
器具機械	完
竹材	完
二、副產物ノ繁殖及利用ニ關スル事項	完
菌草類	完
動物	完

藥用植物	三〇
樹皮及樹葉	三〇
三、林産物ノ化學的性質及應用ニ關スル事項	三〇
製炭及乾溜	三〇
纖維	三〇
油脂臘樹脂及精油	三〇
單寧	三〇
食料、藥料及染料	三〇
三、森林ノ施業ニ關スル調査及試驗事項	三〇
林木ノ生長	三〇
測樹	三〇
森林經濟	三〇
森林經理	三〇
四、森林ノ保護ニ關スル試驗及調査事項	三〇
病害	三〇
虫害	三〇
病害防除	三〇
虫害防除	三〇
五、木材腐朽	三〇
防腐劑	三〇
五、森林氣象ニ關スル試驗及調査事項	三〇
治水水源涵養ニ關スル事項	三〇
河川湖沼湧泉等ニ關スル事項	三〇
森林ト氣象ニ關スル事項	三〇
山岳及地形氣象ニ關スル事項	三〇
雪ニ關スル事項	三〇
生物季節ニ關スル事項	三〇
氣象被害ニ關スル事項	三〇
一般氣象ニ關スル事項	三〇
六、混農林業ニ關スル試驗及調査事項	三〇
土壤	三〇
肥料	三〇
造林、原野及火入	三〇
家畜飼料	三〇
林業ト他生産業	三〇
七、雜	三〇

一、造林ニ關スル試驗及調査事項

土壤及肥料

銅鹽類ノ植物ニ對スル作用ニ就テ(試報第一號、明治三七年)	
土壤ノ性質ト苗木發育トノ關係	
苗木礦物質成分ノ研究 (試報第二、第五號、明治三八、四一年)	
土壤粒ノ大小ト苗木根組織トノ關係 (試報第七號、明治四二年)	
落葉ノ成分及森林土壤ノ變成ニ關スル研究 (試報第八號、明治四三年)	
さぎ苗ノ施肥期ニ關スル試驗 (試報第一〇號、大正二年)	
ひのき苗ニ對スル窒素肥料ノ施肥期及肥効試驗 (試報第一一號、大正四年)	
「ラジウム」肥料ノ苗木ニ對スル肥効試驗 (試報第一四號、大正五年)	
林木ト菌根トノ關係 (試報第一五、第二三號、大正六、一二年)	
苗木ニ對スル肥料三要素試驗 (試報第二二號、大正一一年)	
酸性土壤ニ對スル樹種ノ抵抗ニ就テ (試報第二六號、大正一四年)	

硫酸「アンモニヤ」ノ施肥期ニ就テ (試報第二六號、大正一四年)

窒素肥料ノ肥効並其施肥期ニ就テ(試報第三號、大正一〇年)

樹木生理

樟樹體內ニ於ケル樟腦並樟腦油ノ形成及其ノ分布ニ就テ (試報第一號、明治三七年)	
ひのき及さはら苗ハ如何ナル方向ニ對シテ植栽スベキヤ (試報第二號、明治三八年)	
樹種ノ陰陽ニ就テ (試報第二號、明治三八年)	
さぎノ樹齡査定及植栽年度鑑定法ニ關スル研究 (試報第二〇號、大正九年)	
小笠原島ニ於ケル印度護謨樹ニ就テ (試報第一三號、大正一三年)	
硫黃島ノ地熱ト植物ニ就テ (試報第一七號、大正一四年)	
米國産リギダ松 ( <i>Pinus rigida</i> , Mill.)ノ生長調査 (試報第二二號、昭和二年)	
松脂採取ニ於ケル叩打刺戟ノ解剖學的意義 (試報第四二號、昭和二年)	

植 生

小笠原島所生植物調査報告 (試彙第八號、大正一一年)  
硫黃島ノ植生ニ就テ (試彙第三七號、昭和九年)

天然更新

けやき天然下種更新試験 (試報第二二號、大正一一年)  
もみノ結實年度並稚樹發生年度ニ就テ (試彙第六號、大正一一年)  
さかさばら、つが、ひのき、もみ天然下種更新試験 (試彙第一〇號、大正一二年)  
かし類天然更新ノ整地法試験 (試彙第一一號、大正一二年)  
上木伐採量カもみ、つが天然生稚樹ニ及ホス影響 (試彙第一一號、大正一二年)  
かし類傘伐更新ニ於ケル第一回疎開ノ程度カ稚樹ノ發生及生育ニ及ホス影響並其ノ林相ノ變化ニ就テ (試彙第一六號、大正一四年)  
かし類更新上ニ及ホス保護樹ノ影響試験 (試彙第二四號、昭和三年)  
もみ、つが天然更新ニ關スル試験

(試彙第二四號、昭和三年)  
かし類天然生林ニ於ケル上木ノ腐度疎開方更新上ニ及ホス影響 (試彙第二五號、昭和三年)  
もみ、つが天然更新ニ關スル試験 (試彙第二六號、昭和四年)

種子及苗木

林木種子發芽年度ノ調査 (試報第一號、明治三七年)  
林木種子ノ粒數並重量ノ調査 (試報第一號、明治三七年)  
苗木ノ根部切斷度合カ其ノ莖根ノ發育ニ及ホス影響 (試報第一號、明治三七年)  
苗木移植季節試験試報 (試報第一號、明治三七年)  
林木種子ノ產地及遺傳性ニ關スル試験 (試報第二、第十號、明治三八、大正二年)  
選種法ト發芽率トノ關係 (試報第二號、明治三八年)  
熊本大林區署ニ於ケル種子及苗木試驗 (試報第二號、明治三八年)  
苗木移植距離試験 (試報第二號、明治三八年)  
苗木移植省略ノ簡便法 (試報第二號、明治三八年)

種子發芽率ト播種量トノ關係 (試報第三號、明治三九年)

苗木根切法施行ノ時季ニ就テ (試報第三號、明治三九年)

苗木ノ生長ヲ阻止スル方法 (試報第三號、明治三九年)

苗木ノ生長ト結實トノ關係 (試報第五號、明治四一年)

やまならし苗木養成試験 (試報第五號、明治四一年)

主要林木種子ノ貯藏試験 (試報第八、第一〇號、明治四三、大正二年)

林木種子ノ發芽ニ要スル最適温度 (試報第八號、明治四三年)

簡便ナル種子發芽率檢定方法 (試報第九號、明治四四年)

やまならし種子貯藏試験 (試報第九號、明治四四年)

主要林木種子水選ノ價值及其ノ方法 (試報第一二號、大正四年)

けやき種子ノ播種季節及發芽ニ要スル温度ニ就テ (試報第一五號、大正六年)

林木種子ノ貯藏試験並播種用トシテノ古種子ノ價值 (試報第一七號、大正七年)

けやき、ほほ及うるし種子ノ發芽促進法 (試報第一八號、大正八年)

林木種子ノ乾燥度ト發芽力保存トノ關係

(試報第二一號、大正九年)

けやき種子ノ後熟ト發芽トニ就テ (試報第二二號、大正一一年)

苗木ノ上長生長ト氣象トノ關係ニ就テ(第一回報告) (試報二九號、昭和四年)

林木種子ノ產地及母樹ノ老幼ガ所産林木ノ生長ニ及ホス影響 (第三回報告) (試報第二九號、昭和四年)

苗木速成栽培法 (試報第二號、大正九年)

過度ニ伸長シタルすぎ、ひのき二年生及三年生苗木ノ幹部切斷代替試験 (試報第四號、大正一〇年)

播種被土試験 (試報第四號、大正一〇年)

かし類山行苗木整理方法ノ活著ニ及ホス影響 (試報第四號、大正一〇年)

すぎ山行苗木速成法試験 (試報第六號、大正一一年)

深根性苗木ノ幹根部ノ間ニ存スル相關關係ニ就テ (試報第一四號、大正一三年)

すぎ苗木ノ形狀調査 (試報第一四號、大正一三年)

「ナフタリン」青酸加里、二硫化炭素ガすぎ種子ノ發芽及幼苗

ノ生育ニ及ボス影響 (試彙第一五號、大正一四年)

あかまつトからまつトノ混淆植栽ニ就テ (試報第二六號、大正一四年)

すぎ種子ニ對スル藥液ノ處理ト發芽率トノ關係ニ就テ (試彙第一六號、大正一四年)

くり、けやし造林試驗報告 (試報第二九號、昭和四年)

のいばら種子ニ關スル研究 (試彙第一六號、大正一四年)

けやし造林試驗成績 (試報第三四號、昭和一〇年)

かし類山行苗整理方法ノ生育ニ及ボス影響 (試彙第一七號、大正一四年)

すぎ苗挿木養成ノ實驗 (試彙第三號、大正一〇年)

林木種子ノ含水量ト水蒸氣壓トノ關係 (試彙第二〇號、大正一五年)

富士山麓あかまつ造林不成績ノ原因ニ就テ (試彙第一〇號、大正一二年)

こやし苗育成試驗 (試彙第二二號、昭和二年)

潤葉樹挿木試驗 (試彙第一一號、大正一二年)

しらかし種粒ノ大小ト所産苗木ノ生長トノ關係 (試彙第三〇號、昭和六年)

しらかしノ挿木造林試驗 (試彙第一四號、大正一三年)

播種造林 (試彙第三〇號、昭和六年)

「コカ」樹栽培並採葉試驗 (試彙第二八號、昭和四年)

かし類山地實蒔造林ニ關スル試驗 (試彙第六號、大正一一年)

れまかりだけ撲滅試驗 (試彙第一號、大正九年)

林地播種造林ニ關スル試驗 (試彙第一七號、大正一四年)

かし類枝打試驗 (試彙第一八號、大正一四年)

植樹造林 (試報第二五、第二七號、大正一四、昭和二年)

くぬぎノ伐採季節ト萌芽トノ關係ニ就テ (試彙第二二號、昭和二年)

大阪大林區署ニ於ケル苦竹栽培試驗(試報第七號、明治四二年)

外國産樹種移植試驗 (試報第一號、明治三七年)

あかまつ及からまつ植栽ノ疎密ガ成林狀態ニ及ボス影響 (試報第二三號、大正一二年)

砂防造林 (試報第一四號、大正五年)

茨城縣久慈川口附邊ニ於ケル砂丘ノ形狀 (試報第二三號、大正一二年)

潤葉樹材ノ強弱試驗 (試報第一三號、大正四年)

鹿兒島縣吹上濱海岸砂丘地ニ於ケル砂丘試驗 (試報第二三號、大正一二年)

低肥産すぎ材強弱試驗 (試報第一四號、大正五年)

海濱林内裸地改良試驗 (試彙第六號、大正一一年)

あかまつ材強弱試驗 (試報第一五號、大正六年)

砂丘植物ノ調査 (試彙第一二號、大正一三年)

四谷丸大並青梅及西川すぎ材強弱試驗 (試報第一五號、大正六年)

海岸砂防用樹種はまごうノ挿木試驗 (試彙第二二號、昭和二年)

鹿兒島産ノしひ、たぶ及かし材強弱試驗 (試報第二二號、大正一一年)

火災ト樹林並樹木トノ關係 (試彙特別號、大正一三年)

長柱ノ強度ニ就テ (試報第三四號、昭和一〇年)

二、林産物ノ利用ニ關スル調査及試驗事項 (試彙特別號、大正一三年)

露領沿海州産からまつ材強弱試驗 (試彙第五號、大正一〇年)

一、木竹材ノ利用ニ關スル調査及試驗事項 (試彙第一二號、大正一三年)

北米産輸入材強弱試驗 (試彙第九號、大正一一年)

木材ノ組織 (試報第二二號、大正一一年)

南洋産木材ノ性質ニ就テ (試彙第一二號、大正一三年)

漆樹ノ漆液溝ニ就テ (試報第二二號、大正一一年)

飛行機機體用ひのきノ代用材ニ就テ (試彙第一五號、大正一四年)

白楊樹材中ノ石灰鹽類沈積ニ就テ(試彙第二〇號、大正一一年)

北米産輸入材ノ靱性ニ就テ (試彙第一九號、大正一五年)

木材ノ性質 (試彙第一九號、大正一五年)

「クレオソート」油注入材ノ強弱ニ就テ (試彙第二六號、昭和四年)

木材ノ強度 (報彙第二九號、昭和五年)

すぎ及ひのき材ノ木目方向ト應壓力トノ關係ニ就テ (報彙第二九號、昭和五年)

鴨綠江材質試驗

(試彙第三〇號、昭和六年)

釘ノ保持力ニ就テ

(試彙第三二號、昭和七年)

バラ護謨樹材ノ工藝的性質ニ就テ

(試彙第三五號、昭和八年)

燻煙法ニ依ルル木材ノ乾燥材ノ性質ニ就テ

(試彙第三六號、昭和九年)

スマトラ産材ノ強度ニ就テ

(試彙第三七號、昭和九年)

化粧床板ノ強度及乾燥ニ因ル收縮ニ就テ

(試彙第三八號、昭和一〇年)

ラクダ桐材ノ強度ニ就テ

(試彙第四〇號、昭和一一年)

木材ノ理化學的性質

(試彙第六號、明治四二年)

木材ノ理化學的性質ノ研究

(試彙第一〇號、大正二年)

木材ノ電氣傳導試驗

(試彙第一五號、大正六年)

木材水浸出液ノ螢光現象ニ就テ

(試彙第一五號、大正六年)

潤葉樹材ノ吸濕伸長試驗

(試彙第一六號、大正七年)

すき心材色黑變ニ關スル研究

(試彙第一七、二三、二五、二九號、大正七、一二、一四、昭和四年)

木材ノ吸濕膨脹試驗

(試彙第一七、二三、二五、二九號、大正七、一二、一四、昭和四年)

南洋産木材水浸液ノ螢光現象ニ就テ

(試彙第二一號、大正九年)

青森産ひば陽材材々質ニ就テ

(試彙第三三號、昭和九年)

機酸ノ容器用材ニ就テ

(試彙第四號、大正一〇年)

化粧床板理學的性質試驗成績

(試彙第四二號、昭和二年)

木材ノ耐久性

青森産ひば材ノ耐朽原因ニ就テ

(試彙第一七號、大正七年)

建築用針葉樹材ノ耐朽性ニ關スル研究

(試彙第三三號、昭和九年)

日米針葉樹材ノ耐朽比較試驗

(試彙第一三號、大正一三年)

柿澁塗布材ノ耐朽原因ニ就テ

(試彙第一六號、大正一四年)

ぶなノ伐採季節ト腐朽トノ關係

(試彙第一六號、大正一四年)

南洋材ノ耐朽性試驗

(試彙第二六號、昭和四年)

米國産針葉樹材ノ耐朽性ニ就テ

(報彙第三三號、昭和七年)

震災火災ト鋪木道、鋪木橋及電柱ノ被害

(試彙特別號、大正一三年)

震災地ニ於ケル木造家屋ノ被害ニ就テ

(試彙特別號、大正一三年)

木材ノ工藝的性質

曲木椅子製作ニ關スル實驗

(試彙第六號、明治四二年)

潤葉樹利用試驗

(試彙第一〇號、大正二年)

椀木地製作試驗

(試彙第一三號、大正四年)

家具建具及造作用トシテ木材ノ價值

(試彙第一三號、大正四年)

鍛冶谷澤木工所ニ於ケル潤葉樹利用及製材並木工作業ニ關スル試驗

(試彙第一三號、大正四年)

鉛筆軸木用材試驗

(試彙第一號、大正九年)

「コルク」代用木栓

(試彙第二號、大正九年)

なたをれぎノ材質試驗

(試彙第二號、大正九年)

木材ノ鑿工作試驗

(試彙第二三號、昭和二年)

琉球松枝打材ノ曲柄洋杖製作試驗

(試彙第三六號、昭和九年)

木材ノ處理

立木卷枯

もみ、つが立木卷枯試驗

(試彙第四號、大正一〇年)

ひば立木卷枯試驗

(試彙第六號、大正一一年)

もみ立木卷枯試驗

(試彙第一〇號、大正一一年)

かし類立木卷枯試驗

(試彙第一二號、大正一三年)

木材ノ乾燥

屋内乾燥ニヨル薪材丸太ノ重量減失ニ就テ附樹皮率及收縮率

(試彙第三〇號、昭和五年)

木材ノ人工乾燥試驗(第一回報告)

(試彙第三四號、昭和一〇年)

屋内乾燥ニ因ルあかまつ丸太ノ重量減失調査

(試彙第一三號、大正一三年)

すぎの立皮剝ガ材ノ乾燥ニ及ボス影響

(試彙第一四號、大正一三年)

木材乾燥用トシテノ酸性白土「アドソール」ノ價值ニ就テ

(試彙第一五號、大正一四年)

本邦ニ於ケル木材ノ乾燥程度並氣候ノ變化カ人工乾燥材及天然乾燥材ニ及ボス影響

(試彙第二一號、昭和二年)

ひばノ剥皮丸太ト皮付丸太トノ乾燥比較試驗

(試彙第二二號、昭和二年)

邦領各地方ニ於ケル木材乾燥ノ經過及含水量ノ調査

(試彙第二六號、昭和四年)



市場ニ於ケル主要材種ノ乾燥ニ因ル收縮ニ就テ

(試彙第三三號、昭和七年)

簡易火力乾燥装置

(試彙第三八號、昭和一〇年)

林業試験場ガ指導セル木材人工乾燥装置ト之ガ發達ノ

経路ニ就テ (試彙第四二號、昭和一二年)

木材ノ壞滅防止

(試報第八號、明治四三年)

枕木防腐試験

(試報第一七號、大正七年)

木材防腐劑ノ效力比較試験

(試彙第五號、大正一〇年)

ひば材干割防止試験

(試彙第六號、大正一一年)

干割防止試験

(試彙第七號、大正一一年)

ぶな丸太材變色ノ原因ト之カ防止ニ關スル研究

(試彙第三六、三八號、昭和九、一〇年)

木材ノ着色及染色、脱色

樹木材部ノ着色及防腐試験

(試報第一七號、大正七年)

通發作用ニ依ル木材ノ着色、防腐及耐火法試験

(試報第二一號、大正九年)

洋材材料染抜ニ關スル諸種ノ試験 (試彙第三號、大正一〇年)

米杉材黒色素ノ除去ニ就テ (試彙第一四號、大正一三年)

木材ノ塗裝

木材ノ歪狂防止用トシテノ塗料ノ效果

(試彙第一九、二三號、大正一五、昭和二年)

ぶな材ノ塗裝試験

(試彙第四二號、昭和一二年)

合板及木材ノ膠着

木工用並合板用膠着劑ノ品質試験

(試彙第一三號、大正一三年)

動物質膠ノ溶解溫度ト加熱時間ガ固著力ニ及ボス影響

(試彙第一八號、大正一四年)

膠着劑「カゼイン」膠ノ固著力ノ減失ト其ノ原因並之

ガ防止ニ就テ (試彙第一九號、大正一五年)

普通板及合板ノ吸濕並膨脹

(試彙第一九號、大正一五年)

合板ノ貼附方法ト狂トノ關係

(試彙第二三號、昭和二年)

「カゼイン」膠ノ溶解後ノ時間ト固著力トノ關係

(試彙第二四號、昭和三年)

動物質膠及「カゼイン」膠カ固着ニ要スル時間ニ就テ

(試彙第二五號、昭和三年)

木材ノ接着面ト膠着力トノ關係 (試彙第二七號、昭和四年)

本邦各地ニ於ケル合板ノ狂並固著ノ状態ニ就テ (試彙第三二號、昭和七年)

木材規格

木材規格及其ノ統一ニ就テ (試報第三二號、昭和八年)

器具機械

本邦ニ於ケル伐木及造材用器具機械ニ關スル調査 (試報第二四號、大正一三年)

竹材

竹材ノ乾燥ト色澤トノ關係ニ就テ (試彙第二八號、昭和四年)

菌類

二、副産物ノ繁殖及利用ニ關スル事項 (試報第七號、明治四二年)

白木耳栽培試験

松茸人工繁殖試験 (試報第七號、明治四二年)

椎茸栽培ニ關スル研究 (試報第八號、明治四三年)

えのきたけ栽培試験 (試彙第一九號、大正一五年)

動物

炭燒試験 (試報第五號、明治四一年)

白蠟養殖試驗 (試報第一一號、大正四年)

高麗雉ノ蕃殖並放養後ノ經過ニ就テ (試彙第一九號、大正一五年)

藥用植物

林野産藥用植物栽培試験 (試彙第二號、大正九年)

はしりごころ(菘苳)及わうれん(黃蓮)栽培試験 (試彙第二〇號、大正一五年)

菘苳ノ人工栽培試験 (試彙第二五號、昭和三年)

「アリス」栽培試験 (試彙第三四號、昭和八年)

「ワウレン(黃蓮)」ノ栽培收穫ニ就テ (試彙第四〇號、昭和一一年)

樹皮及樹葉

「コルク」粒鋸屑等ノ保溫能ニ就テ (試報第七號、大正一一年)

た、は製帽原料漂白試験 (試彙第一二號、大正一三年)

三、林産物ノ化學的性質及應用ニ關スル事項

製炭及乾溜

炭燒試験

木炭及醋酸石灰製造試験 (試報第一〇號、明治四二年)

日本炭電及炭質ニ關スル研究 (試報第九號、明治四四年)

青森大林區署ニ於ケル製炭試験 (試報第一四號、大正五年)

炭電ニ關スル研究 (試報第一四號、大正五年)

醋酸石灰製造ニ關スル研究 (試報第一四、一五號、大正五、六年)

純鉄製造用木炭ニ關スル研究 (試報第一五、一六、一八、大正七、八年)

萬代式木材乾留窯ニ於ケル燃料節約試験 (試報第二號、大正九年)

鐵 維

木材ノ化學的組成分及纖維ノ形態ト強サトノ關係 (試報第二七、第二八號、昭和二、三年)

油脂、臘、樹脂及精油

鹿兒島大林區署ニ於ケル樟腦製造試験 (試報第三、第五、第七、第八、第一二、及第二五號、明治三九、四一、四二、四三、大正四、一四年)

熊本大林區署ニ於ケル樟腦製造試験 (試報第三、第一二號、明治三九、大正四年)

本邦松脂業ノ改善試験 (第一回報告) (試報第一四號、大正一三年)

單 寧 (試報第三七號、昭和九年)

鬆皮材料試験 (試報第三、第五號、明治三九、四一年)

殼斗類及其ノ他ノ單寧材料試験 (試報第三、第五號、明治三九、四一年)

木附子單寧含有量試験 (試報第三、第五、第七、第八、第九號、明治三九、四一、四二、四三、四四年)

のぶのき皮含有單寧量月別試験 (試報第八號、明治四三年)

くり材ヨリ單寧「エキス」製造試験 (試報第一五號、大正六年)

マアシヤル、カロリン群島產單寧材料ニ就テ (試報第二二號、大正九年)

小笠原島樹木ノタンニン (試報第三六號、昭和九年)

食料、藥料、及染料

こち、なら、かし、くわぎ及かしは等ノ種實中ニ在ル

澱粉ノ利用ニ關スル試験 (試報第七號、明治四二年)

林野產雜草ヨリ「ポッターズ」ノ製造試験

松脂採集試験 (試報第五號、明治四一年)

漆液採集試験 (試報第五、第七號、明治四一、四二年)

森林樹木ヨリ產スル植物油ノ調査 (試報第五、第一五號、明治四一、大正六年)

松根油製造試験 (試報第九號、明治四四年)

樺皮乾留油ニ關スル研究 (試報第一〇號、大正二年)

杉葉油ニ關スル研究 (試報第一一號、大正四年)

山椒油ニ關スル研究 (試報第一一號、大正四年)

臺灣阿里山產扁柏乾留油ニ關スル研究 (試報第一一號、大正四年)

ひば材ノ揮發油ニ關スル研究 (試報第一一號、大正四年)

ひば材揮發油成分ノ化學的研究 (試報第一五號、大正六年)

つが樹脂中ノ一新成分ニ就テ (試報第三〇號、昭和五年)

かうやまき精油成分ノ化學的研究 (試報第三一號、昭和六年)

ひば、あかまつ、くろまつ、このてがしは、たうひ、か (試報第三一號、昭和六年)

うやまき枝葉油ノ性狀ニ就テ (試報第三二號、昭和六年)

ひば枝葉蒸溜試験 (試報第二號、大正九年)

松脂採集試験 (第一回、第二回報告) (試報第二號、大正九年)

いてふ果實ノ成分ニ就テ (第一回報告) (試報第一七號、大正七年)

高級脂肪酸類ノ木材腐朽菌ニ對スル殺菌性ニ就テ (試報第二八號、昭和三年)

「ババイン」採收試験 (試報第三一號、昭和六年)

ひばノ鉛筆軸木染色試験 (試報第三三號、昭和二年)

生椎茸罐詰製造試験 (試報第三五號、昭和八年)

栃粉並澱粉製造方法 (試報第三六號、昭和九年)

本邦產紫金牛科植物ヨリ驅蟲劑ヲ製造スル方法 (試報第三九號、昭和一〇年)

三、森林ノ施業ニ關スル調査及試驗事項 (試報第三九號、昭和一〇年)

林 木 生 長

孟宗竹及苦竹ノ生長 (試報第一號、明治三七年)

からまつ林ノ間伐試験 (試報第二、第六號、明治三八、四二年)

信州地方からまつ林ノ生長及收穫 (試報第四號、明治四〇年)

吉野すざ林ニ於テ慣用セル間伐方法及其ノ林木ノ物質的 (試報第四號、明治四〇年)

生長ニ及ホス效果ノ調査 (試報第四號、明治四〇年)

近畿地方苦竹林ノ生長及收穫 (試報第八號、明治四三年)  
すぎ林ノ生長及收穫 (試報第一一號、大正四年)  
あかまつ林ノ收穫表 (試報第二二號、大正九年)  
すぎ單純老齡林分間伐法試驗實行報告

(試報第一四號、大正一三年)

疎植ト密植トノひのき林ニ就テ生長ノ比較調査

(試報第五、第二〇號、大正一〇、一五年)

東北地方あかまつ林ノ收穫表 (山林公報、第七號、大正二年)

測 樹

林木材積計算法ノ比較 (試報第一號、明治三七年)

林木材積計算法ノ曲線法ニ於ケル材積曲線ノ研究

(試報第二號、明治三八年)

あかまつ、すぎ、ひのき、もみ、つが及びびばノ單木幹材

積計算補助表並材積表 (試報第八號、明治四三年)

しらかし、ぶな及びくりノ單木幹材積計算補助表並材積表

(試報第一〇號、大正二年)

單立木ノ層積計算式ノ研究附本邦各地慣用ノ層積單位ノ

比較 (試報第一〇號、大正二年)

あかまつ枝條量計算式ノ研究並計算補助表

(試報第一一號、大正四年)

薪材ノ層積ニ關スル研究 (試報第一四號、大正五年)

あかまつノ單木幹材積表並胸高形數表

(試報第一六號、大正七年)

あかまつノ樹皮率ニ就テ (試報第一八號、大正八年)

びばノ單木幹材材積表及單木幹材材積計算補助表ノ改訂

(試報第一九號、大正九年)

丸太材積ノ計算法ニ就テ (試報第二五號、大正一四年)

からまつノ單木幹材積表調製 (試報第三三號、昭和九年)

黒松樹幹ノ細リ早見表 (試報第三四號、昭和一〇年)

立木層積算定補助表 (試報第一號、大正九年)

樹幹ノ胸高以上任意ノ高サニ於ケル直徑算定ノ補助表

(試報第四號、大正一〇年)

かしはノ樹皮量ニ關スル調査 (試報第五號、大正一〇年)

一齊同齡ノ針葉樹林ニ於ケル單木ノ胸高幹形數ニ關ス

ル調査 (試報第五號、大正一〇年)

丸太材積ノ計算法ニ就テ (試報第七號、大正一一年)

一齊同齡ノ針葉樹林ニ於ケル樹冠ノ水平的投影面積及  
枝下高ノ變異 (試報第九號、大正一一年)  
あかまつノ伐痕ヨリ胸高直徑及樹高ヲ想定スル補助表  
ニ就テ (試報第九號、大正一一年)  
末口直徑ニ依ル丸太材積算定ノ一法ニ就テ

(試報第一一號、大正一二年)

あべまきノ樹皮量ニ關スル調査 (試報第一三號、大正一三年)

あかまつノ根部材積ニ就テノ調査

(試報第一五號、大正一四年)

一齊同齡林ノ樹高曲線及材積曲線ノ研究並常數法ニヨ

ル材積表調製 (試報第一八號、大正一四年)

樹樹幹ノ偏倚方向ニ就テ (試報第二二號、昭和二年)

丸太材積計積因子トシテノ直徑括約ニ就テ

(試報第二九號、昭和五年)

米杉割材ノ材積計算法ニ就テ (試報第三一號、昭和六年)

竹材ノ結束入數ニ就テ (試報第三五號、昭和八年)

木材規格ノ檢知並括約方法ニヨル丸太材積計算法ノ研究

(試報第三五號、昭和八年)

櫛ノ單木材積表及材積早見圖 (試報第三九號、昭和一〇年)  
櫛ノ單木材積計算補助表 (試報第四〇號、昭和一一一一年)

森 林 經 濟

東京大林區署ニ於テ施行セル保殘木作業ニ關スル試驗

ニ就テ (試報第三號、明治三九年)

熊本大林區署ニ於ケルいちひがし天然更新試驗

(試報第一七號、大正七年)

かし類更新法ニ關スル試驗 (試報第三號、大正一〇年)

一齊同齡ノあかまつ林内ニ於ケル箇樹ノ樹形調査

(試報第四號、大正一〇年)

森 林 經 理

栃木縣那須郡川西町及同郡湯澤村ニ於ケル民有林施業

指導地ニ就テ (試報第三九號、昭和一〇年)

四、森林ノ保護ニ關スル試驗及調査事項

病 害

からまつノ腐心病 (試報第一號、明治三七年)

苦竹ノ水枯病ニ關スル研究 (試報第九號、明治四四年)

すぎ苗赤枯病ノ研究(試報第一〇號、第一四號、大正二、五年)

くりノ葉枯病ニ就テ (試報第一六號、大正七年)  
すぎ苗ノ癌腫病ニ關スル研究 (試報第一八號、大正八年)  
あかまつニ寄生スルならたけニ就テ (試報第二一號、大正九年)

すぎ樹枝枯病ニ就テ (試報第二六號、大正一四年)  
くり桐枯病菌並類似菌ニ關スル研究 (試報第二七號、昭和二年)

からまつ腐心病ノ病原菌ニ就テ (試報第二八號、昭和三年)  
ひげ生立木ノ溝腐病ニ關スル研究 (試報第三一號、昭和六年)  
まだけノ朱病害ニ就テ (試報第一號、大正九年)  
はちく開花後發生スル變態竹ニ就テ (試報第四號、大正一〇年)

つくばれがしノ炭疽病ニ就テ (試報第五號、大正一〇年)  
東北地方ニ於ケル桐樹ノ主ナル病害 (試報第四〇號、昭和一年)

蟲害

米國産やまならしノ害蟲調査 (試報第二號、明治三八年)  
針葉種子寄生蜂ノ調査 (試報第二號、明治三八年)

くわぎけむしノ調査 (試報第三號、明治三九年)

白蟻ノ研究 (試報第九、第一〇號、明治四四、大正二年)  
楊柳科植物ヲ害スル葉蟲類ニ就テ (試報第九號、明治四四年)

木竹材害蟲ノ研究 (試報、第一四號、大正五年)  
貯水池ニ於ケル木材ノ害蟲 (試報第一六號、大正七年)  
針葉樹種子寄生蜂ニ就テ (試報第一七號、大正七年)

はらあかまひノ調査 (試報第二五號、大正一四年)  
病害防除 (試報第二五號、大正一四年)  
すぎ苗赤枯病ニ對スル銅石鹼液效力試驗 (第一回) (試報第一〇、第一六號、大正一二、一四年)

すぎ苗赤枯病ノ驅除豫防ニ關スル試驗 (試報第一四號、大正五年)  
竹製品ノ防菌ニ關スル實驗 (試報第三六號、昭和九年)

蟲害防除

竹材蟲害豫防試驗 (試報第九號、明治四四年)  
根切蟲ノ敵蟲ニ就テ (試報第一七號、大正七年)  
からまつヲ害スル葉蟻類ニ就テ (試報第二號、大正九年)  
くすぞうむし驅去豫防試驗 (試報第五號、大正一〇年)

まつのこきくひむし驅除豫防試驗 (試報第六號、大正一一年)  
まつけむしの驅除ニ關スル試驗 (試報第七號、大正一一年)  
根切蟲ノ驅除試驗 (試報第一五號、大正一四年)  
かし類ヲ害スルくすかみきりノ驅除試驗 (試報第一五號、大正一四年)

さいろこがねノ成蟲驅除試驗 (試報第一七號、大正一四年)  
根切蟲ノ藥劑的驅除試驗 (試報第一八號、大正一四年)  
ぶな丸太材穿孔蟲ノ蝕害防止ニ關スル研究 (試報第四二號、昭和一二年)

木材腐朽

建築土木用材腐朽菌ノ形態並之カ發育ニ及ボス溫度ノ影響 (試報第二八號、昭和三年)

木材腐朽菌ノ培養試驗 (試報第三〇號、昭和五年)  
震災後觀察セル木造洋風家屋ノ腐朽並焼死樹ニ發生セル燈黃色菌ニ就テ (試報特別號、大正一三年)

防腐劑

ひげ揮發油ノ殺菌性ニ就テ (試報第三〇號、昭和五年)  
高級脂肪酸類ノ木材腐朽菌ニ對スル殺菌性ニ就テ

くろまつノ落葉採集試驗ノ成績 (試報第三一號、昭和六年)  
あかまつ、くろまつ人工植栽林ノ雪害調査 (試報第二七號、昭和四年)

五、森林氣象ニ關スル試驗及調査事項

治水並水源涵養ニ關スル事項 (試報第三一號、昭和六年)  
本邦大河出水豫報ニ關スル調査 (武藏國荒川ノ部) (測特第三號、大正六年)

落葉ノ保水量試驗 (測特第四號、大正六年)  
東京大林區署ニ於テ施行シタル有林地ト無林地トニ於

ケル水源涵養比較試驗 (試報第一二號、大正四年)  
筑後川水源地方ノ降雨ト水位豫報 (氣報第五號、大正一三年)

樹葉含水量試驗報告 (氣報第六號、大正一四年)  
江ノ川支流西城川出水豫報 (氣報第七號、大正一四年)

北小國雨量ニ基ク筑後川出水豫報 (氣報第七號、大正一四年)  
出水時ニ於ケル利根川流域ノ雨量分布ニ就テ (氣報第九號、昭和二年)

有林地ト無林地ノ地表流下雨量ノ比較 (氣報第九號、昭和二年)

千代川出水警報ニ就テ (氣彙第一〇號、昭和三年)  
有林地溪谷ト無林地溪谷トノ溪水量ニ就テ (氣彙第一一號、昭和六年)

泉ノ水溫ト地溫トノ關係 (測特第五號、大正八年)  
湖畔ノ氣溫ニ及ボス中宮洞湖ノ影響 (測特第五號、大正八年)  
井川降水量ト大井川ノ水位トニ就テ

鳥取縣岩美郡蒲生村ニ於ケル地ニ概況報告 (氣彙第一三號、昭和八年)

中宮洞湖ノ水溫 (測特第六號、大正一〇年)  
碓氷川八城量水所ニ於ケル流量測定ノ成績 (測特第七號、大正一一年)

昭和九年九月二十一日ノ中國大出水ニ就テ (氣彙第一四號、昭和九年)

水無川流量ニ關スル調査 (氣彙第一號、大正一二年)  
土壤ノ保水並滲透ニ關スル觀察 (氣彙第三號、大正一三年)

河川湖沼湧泉等ニ關スル事項

利根川流域各河川水位ノ増減及出水狀況ト雨量トノ關係 (氣彙第一五號、昭和一〇年)

筑後川瀨下水位ト森町雨量トノ關係 (氣彙第三號、大正一三年)

中宮洞湖ノ水位並流入率 (測特第一號、大正三年)

河水溫度觀測成績 (氣彙第四號、大正一三年)

中宮洞湖ノ水位 (測特第三、第七號、大正六、一一年)

河川上流部ノ水位並其ノ統計法ニ就テ (氣彙第五號、大正一三年)

北小國森林測候所々管量水標關係流域地ノ狀況並降水量ト水位トノ關係 (測特第四號、大正六年)

土壤面ヨリノ水ノ蒸發ニ關スル觀察 (氣彙第五號、大正一三年)

筑後川上流ノ降水量ト水位 (測特第五號、大正八年)

中宮洞湖ノ滲透水量ニ就テ (氣彙第五號、大正一三年)

荒川流域ノ降水量ト水位トニ就テ (測特第五號、大正八年)

地面ヨリノ水ノ蒸發ニ就テ (氣彙第五號、大正一三年)

川水位ト井水位トノ關係 (氣彙第八號、大正一五年)

森林ト氣象ニ關スル事項 (氣彙第一五號、昭和一〇年)

地下三米迄ノ土層内ノ含有水分ノ調査 (氣彙第一〇號、昭和三年)

森林測候所ニ於ケル林内外氣象要素ノ比較 (測特第一、第二、第四號、大正三、五及六年)

わさび田ノ水溫觀測成績 (氣彙第一〇號、昭和三年)

平地ニ於ケル森林内外氣象要素ノ比較 (測特第一號、大正三年)

榛名山山腹ノ流出水量 (氣彙第一二號、昭和七年)

各地森林氣象ノ比較調査 (測特第四號、大正六年)

雨水滲透試驗報告 (氣彙第一二號、昭和七年)

林木ノ雨水保持量ニ關スル試驗 (測特第四號、大正六年)

砂ヨリノ水ノ蒸發觀測成績 (氣彙第一三號、昭和八年)

森林内外ニ於ケル氣溫溫度ノ比較觀測ニ就テ (測特第五號、大正八年)

地表流量ト滲透量ノ觀測成績 (氣彙第一三號、昭和八年)

森林内外蒸發量ノ關係 (測特第五號、大正八年)

根尾川根尾量水所觀測成績 (氣彙第一四、第一五號、昭和九、一〇年)

樹冠保留雨量ニ就テ (測特第六號、大正一〇年)

仁別ニ於ケル旭川流量測定成績 (第一報) (氣彙第一四號、昭和九年)

十日町林内外氣象比較觀測ノ成績 (測特第九號、大正一二年)

湧泉ノ湧出量ニ就テ (氣彙第一五號、昭和一〇年)

林内外觀測地ノ降水量比較 (測特第一〇號、大正一二年)

集水地ノ降水量配布ニ就テ (根尾川根尾量水所觀測成績第三回報告) (氣彙第一五號、昭和一〇年)

林内外觀測場位置ノ相違ニ基ク降雨量ノ差ニ就テ (氣彙第一號、大正一二年)

流量曲線式ノ決定ト流出量及水溫並水素イオン濃度觀測成績 (氣彙第一五號、昭和一〇年)

森林ノ氣象ニ及ボス影響 (試彙第一號、大正九年)

築後川水系杖立川ノ流量ト雨量トノ關係 (氣彙第一五號、昭和一〇年)

大臺ヶ原山上ノ樹雨ニ就テ (氣彙第二號、大正一二年)

林内外地中温度ノ比較 (氣卷第七號、大正一四年)

樹木ノ通發水量測定試驗成績 (氣卷第一〇、一一、一二、一三號、昭和三、六、七、八年)

土壤水分ノ森林及氣象要素トノ關係ニ就テ (氣卷第一二號、昭和七年)

霧島山ノ森林ノ分布ト氣候 (氣卷第一五號、昭和一〇年)

山岳及地形氣象ニ關スル事項 男體山氣象觀測ノ成績 (測特第二、第四、第八號、大正五、六、一一年)

榛名山雨量觀測成績 (測特第四、第五、第八號、大正六、八、一一年)

三峰山ニ於ケル降水量垂直分布ノ概況 (測特第四、第五號、大正六、八年)

榛名山ニ於ケル降水量報告 (測特第四號、大正六年)

白髮山雨量觀測ノ成績 (測特第五、第六、第七、第八號、大正八、一〇、一一年)

本邦山地及臺地ニ於ケル氣温遞減率ニ就テ (測特第七號、大正一一年)

吉野川溪谷ノ雨量比較報告第一回 (測特第八號、大正一一年)

山地及陸地ニ於ケル霧 (氣卷第一號、大正一二年)

大臺ヶ原山ノ霧氷ト雨水 (氣卷第二號、大正一二年)

一地點ノ局部的暴風方向ノ判定 (氣卷第二號、大正一二年)

智頭地方ノ霧ニ就テ (氣卷第三號、大正一三年)

大日峠ノ雨量觀測成績 (氣卷第九號、昭和二年)

九州地方ニ於ケル地勢ト結霜 (氣卷第九號、昭和二年)

地況ニ依ル結霜程度ノ比較 (氣卷第九號、昭和二年)

地表氣候ニ關スル調査ノ概要 (氣卷第一二號、昭和七年)

九重山脈附近ノ雨量分布ニ就テ (氣卷第一二號、昭和七年)

鳥取海岸砂丘ノ氣象的成因ニ就テ (氣卷第一二號、昭和七年)

南北兩傾斜面ニ於ケル比較觀測ノ成績 (氣卷第一三號、昭和八年)

霧島山ノ氣象 (氣卷第一三號、昭和八年)

雪ニ關スル事項 雪崩ニ就テ (氣卷第一號、大正一二年)

融雪水量ニ就テ (氣卷第一號、大正一二年)

十日町ニ於ケル積雪ノ密度 (氣卷第三號、大正一三年)

雪ト雪汁 (氣卷第四號、大正一三年)

越後十日町地方ノ葉色雪ニ就テ (氣卷第五號、大正一三年)

鳥取縣智頭地方ノ雪ニ就テ (氣卷第七號、大正一四年)

樹冠下ノ積雪ノ密度 (氣卷第八號、大正一五年)

積雪表 (氣卷第九號、昭和二年)

雪汁ト其ノ行方ニ就テ (氣卷第九號、昭和二年)

融雪裝置附雨量計試驗報告 (氣卷第一〇號、昭和三年)

本邦日本海岸ニ於ケル地勢ト積雪 (氣卷第一〇號、昭和三年)

雪ニ關スル二、三ノ觀察 (氣卷第一〇號、昭和三年)

雪量計比較觀測ノ成績 (氣卷第一二號、昭和七年)

越後十日町ニ於ケル融雪水量觀測ノ成績 (氣卷第一四號、昭和九年)

自昭和八年至同九年冬季ノ大雪並雪ニ關スル二、三ノ調查報告 (氣卷第一五號、昭和一〇年)

融雪並融雪促進ニ就テ (試卷第三九號、昭和一〇年)

生物季節ニ關スル事項 中宮洞湖畔ニ於ケル樹木ノ發芽時期調査 (測特第五、第六號、大正八、一〇年)

動物物季節觀察ノ成績 (氣卷第八號、大正一五年)

からまつノ發芽及落葉期日ト海拔高トノ關係 (氣卷第九號、昭和二年)

十日市ニ於ケルつぐみノ渡來期日ニ就テ (氣卷第九號、昭和二年)

十日市ニ於ケルつばめ渡來初日ト氣象トノ關係 (第二回) (氣卷第一〇號、昭和三年)

昆虫ノ飛來數ト氣象其ノ他ノ關係ニ就テ (氣卷第一〇號、昭和三年)

樹木ノ伸長期ト氣候トノ關係 (氣卷第一一號、昭和六年)

ひがんざくらノ開花狀況 (氣卷第一一號、昭和六年)

夜間ニ於ケル昆虫ノ誘火採集ト氣象其ノ他ノ關係ニ就テ (氣卷第一二號、昭和六年)

動物物季節觀察成績 (氣卷第一三號、昭和八年)

林木種子ノ發芽ト氣候トノ關係ニ就テ (氣卷第一三號、昭和八年)

氣象被害ニ關スル事項 冬季針葉樹ノ枯損ニ就テ (測特第七號、大正一一年)

五七

樹木ノ寒害ニ就テ (氣彙第一一號、昭和六年)

昭和七年十一月十四、五日ノ颶風ニ因ル山林被害

(氣彙第一三號、昭和八年)

播磨香呂盆地ニ於ケル施風調査報告

(氣彙第一四號、昭和九年)

昭和八年五月高知縣地方ノ山火事ト氣象

(氣彙第一四號、昭和九年)

南九州ニ於ケル森林火災ト氣象トノ關係ニ就テ

(氣彙第一五號、昭和一〇年)

長野縣北安曇郡中土村ニ於ケル地ニ視察報告

(氣彙第一五號、昭和一〇年)

昭和九年九月二十一日颶風ノ並吉野川上流地方ノ森林

ノ風害概況 (氣彙第一五號、昭和一〇年)

一般氣象ニ關スル事項

利根川外九河川流域ノ氣象概況 (測特第五號、大正一三年)

雨ノ地溫變化ニ及ボス影響 (測特第六號、大正一四年)

鳴子地方ノ降雨ト風向トノ關係 (測特第一〇號、昭和三年)

沼宮内地方ノ降雨ト風向 (測特第一〇號、昭和三年)

篠山地方ニ於ケル降雨ノ型式 (測特第一〇號、大正一二年)

鳥取縣智頭地方ノ降雨ニ就テ (測特第一〇號、大正一二年)

北小國ノ霧ニ就テ (氣彙第二號、大正一二年)

かすみニ就テ (氣彙第二號、大正一二年)

蒸發計内ニ生ズル氷柱 (氣彙第二號、大正一二年)

池水ノ蒸發量觀測成績 (氣彙第四、第六號、大正一三、一四年)

水ノ蒸發ニ對スル測器ノ影響ニ就テ (氣彙第四號、大正一三年)

水ノ蒸發比較觀測 (氣彙第四號、大正一三年)

蒸發計ニ關スル研究 (氣彙第四、第七號、大正一三、一四年)

大氣透明度ニ就テ (氣彙第四號、大正一三年)

水ノ蒸發ト氣象要素トノ關係 (氣彙第六號、大正一四年)

出雲國横田地方ノ降雨ニ就テ (氣彙第六號、大正一四年)

雲行ト降雨トノ關係ニ就テ (大正八年山林公報第六號及氣彙第六號、大正一四年)

雨量計ニ及ボス風衝ノ影響ニ就テ (氣彙第七號、大正一四年)

蒸發量日週變化 (氣彙第七號、大正一四年)

時雨ト天泣 (氣彙第八號、大正一五年)

水ノ蒸發作用ニ就テ (氣彙第八號、大正一五年)

利根川流域ノ雨雪量ト支那方面ノ氣壓トノ相關

(氣彙第八號、大正一五年)

時雨ノ分布ト同時性 (氣彙第一〇號、昭和三年)

越後十日町地方ニ於ケル最低氣溫ノ急變

(氣彙第一〇號、昭和三年)

地上異レル高サニ於ケル氣溫及濕度ノ觀測成績

(氣彙第一〇號、昭和三年)

水ノ蒸發作用ト氣象要素トノ關係 (氣彙第一一號、昭和六年)

地下室ニ依ル地溫觀測設備 (氣彙第一二號、昭和七年)

川内川流域ノ雨量ノ分布ト増水ニ就テ

(氣彙第一四號、昭和九年)

地下室ニ依ル地中溫度觀測方ニ就テ

(氣彙第一四號、昭和九年)

原野ノ植物變遷ノ觀察

(氣彙第一四號、昭和九年)

土 壤

六、混農林業ニ關スル試驗及調査事項

草地ト裸地トニ於ケル土壤水分ノ比較試驗

すぎ、ひのき及あかまつ苗木ノ礦物質養分要求度ニ關ス

ル研究 (第一回報告) (試報第三三號、昭和九年)

荳科植物窒素固定ニ關スル研究 (豫報)

(試報第一四號、大正一三年)

肥 料

原野草類ニ對スル肥料三要素試驗

(試報第二五號、大正一四年)

はぎニ對スル肥料三要素試驗 (試報第二五號、大正一四年)

禾本科牧草ニ對スル肥料三要素試驗 (試報第三三號、昭和九年)

はぎニ對スル肥料三要素試驗 (試報第六號、大正一一年)

施肥ノ原野草類組成ニ及ボス影響ニ就テ (試報第二〇號、大正一五年)

造林、原野及火入

原野灌漑試驗 (試報第一四號、大正五年)

原野ノ火入ニ關スル試驗 (第一回報告)

(試報第二一號、大正九年)

放牧地火入ニ依ル壁蝨驅除ニ就テ

(試彙第一二號、大正一三年)

原野灌木除去ニ關スル試驗

(試彙第一七號、大正一四年)

家畜飼料

秣及肥料用草類ニ關スル施業方法試驗

(試報第一三號、大正四年)

かはらけつめいノ飼料及肥料價值(試報第一六號、大正七年)

樹葉並野草ノ飼料及肥料の價值(試報第一八號、大正八年)

秣及肥料用草類生産ニ關スル施業方法試驗(第二回報告)

(試報第一八號、大正八年)

はころもさうノ飼肥料の價值ニ就テ(試彙第二號、大正九年)

各種樹葉ニ對スル牛馬ノ嗜好ニ就テ

(試彙第三號、大正一〇年)

立木地及無立木地ニ於ケル下草種類並生産量ニ就テ

(試彙第四號、大正一〇年)

「カウパー」Cow Pear栽培試驗(試彙第二八號、昭和四年)

本邦林野ニ自生スル家畜ニ對スル有害植物

(試彙第三三號、昭和七年)

林業ト他生産業

牛馬放牧ノ林野ニ及ボス影響試驗

(試報第一三、第二二號、大正四、一一年)

放牧ノ原野植生ニ及ボス影響(試彙第二七號、昭和四年)

待期放牧法ニ據ル牧野ノ草生改良

(試彙第三八號、昭和一〇年)

七、雜

一九三二年佛國ナンシイニ於ケル第八回國際林業試驗

場會議參列報告(試彙第三八號、昭和一〇年)

第七回林業試驗協議會報告(試彙第四〇號、昭和一一年)

### 林業試驗場手數料令(勅令第三百二十四號)

(昭和二年十一月九日)

第一條 林業試驗場ニ分析、鑑定又ハ試驗ノ依頼ヲ爲ス者ハ左ノ區別ニ從ヒ手數料ヲ納ムヘシ

一 定性分析

林産物、林産製造品、苗圃土壤、林地土壤又ハ林業用肥料若ハ其ノ原料 每一件一成分一圓

右ニ掲クル物料ノ普通含有セサル成分 每一件一成分三圓

二 定量分析

林産物、林産製造品、苗圃土壤又ハ林地土壤 每一件一成分三圓

一成分ヲ増ス毎ニ二圓ヲ加フ 水分、可燃物及灰分ハ各五

十錢トス

林業用肥料又ハ其ノ原料 每一件一成分二圓

一成分ヲ増ス毎ニ一圓ヲ加フ 水分、可燃物及灰分ハ各五

十錢トス

右ニ掲クル物料ノ普通含有セル成分 每一件一成分十圓

三 苗圃土壤又ハ林地土壤ノ機械的分析 每一件二十圓  
四 苗圃土壤又ハ林業土壤ノ窒素又ハ磷酸吸收力ノ檢定ノ爲ニスル分析 每一件五圓

五 木炭又ハ代用炭ノ比重及硬度、發火點及發熱量又ハ發熱溫度及其ノ保持時間ノ試驗 每一件二圓

六 木炭ノ吸水力吸濕力、瓦斯吸着力又ハ脱色力ノ試驗 每一件三圓

七 林産物又ハ林産製造品タル油脂、蠟又ハ精油ノ比重、粘度、凝點、融點、屈折率又ハ旋光度ノ試驗 每一件二圓

八 林産物又ハ林産製造品タル油脂、蠟又ハ精油ノ沃素價、酸價、若ハ鹼化價ノ試驗又ハ酸若ハ「アルカリ」ノ作用ノ試驗 每一件三圓

九 林業用種子ノ鑑定 每一件五十錢

實重 每一件五十錢

效率 每一件二十圓

小粒種子 每一件二十圓

大粒種子 每一件一圓五十錢

十 木材ノ應曲力、應張力、應壓力、應剪力、應振力、硬性

六二



靱性又ハ割裂性ノ試験

十一 木材ノ伸縮又ハ反張ノ試験

每一件三圓  
每一件三圓

十二 木材ノ耐朽ノ試験

每一件十圓以上三十圓以下  
每一件五圓以上十圓以下

防腐木材

十三 前各號ニ掲クルモノノ外林業ニ關係アル物料ノ分析、鑑定又ハ試験

第一條ノ二 林業試験場ニ林産物ノ加工ノ依頼ヲ爲ス者ハ左ノ手數料ヲ納ムヘシ

一、生松脂精製

第二條 林業試験場ニ分析、鑑定又ハ試験ノ依頼ヲ爲ス者其ノ分析、鑑定又ハ試験ノ報告書ノ複本ヲ請求スルトキハ一通毎ニ二十錢、歐文ニ依ル複本ヲ請求スルトキハ一通毎ニ五十錢以上十圓以下ノ手數料ヲ納ムヘシ

第三條 林業試験場ニ於テ鑑定ヲ受ケタル林業用種子ニ對シ封緘ヲ依頼スル者ハ一包裝毎ニ二十錢ノ手數料ヲ納ムヘシ

第四條 手數料中最高及最低ノ限度ヲ定メタルモノニ付テハ林業試験場長其ノ額ヲ定ム

第五條 手數料ハ收入印紙ヲ以テ之ヲ納ムヘシ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ第一條第一號乃至第八號及第十號乃至第十三號ニ掲クル分析、鑑定又ハ試験ハ昭和二年十月三十一日迄之ヲ行ハス  
本令施行前ノ依頼ニ係ル林業用種子ノ鑑定ノ手數料ニ關シテハ仍從前ノ金額ニ依ル

林業試験場分析、鑑定及試験規則(農林省令第二十四號) (昭和二年十一月十日)

第一條 林業試験場ニ分析、鑑定又ハ試験ノ依頼ヲ爲ス者ハ樣式第一號乃至第三號ニ依ル依頼書ニ供試品ヲ添ヘテ之ヲ差出スヘシ

第二條 分析、鑑定又ハ試験一件毎ニ差出スヘキ供試品ノ分量左ノ如シ但シ林業試験場長必要ト認ムルトキハ之ヲ増加セシムルコトアルヘシ

一 定性分析又ハ定量分析

林産物(乾燥セルモノ) 五百「グラム」

林産物(乾燥セサルモノ) 一「キログラム」

林産製造品(液狀ヲナセルモノ) 五「リットル」

林産製造品(液狀ヲナサザルモノ) 五百「グラム」

苗圃土壤又ハ林地土壤 二百「グラム」

林業用販賣肥料 二百「グラム」

販賣肥料以外ノ林業用肥料 一「キログラム」

林業用肥料ノ原料 二「キログラム」

二 機械的分析

苗圃土壤又ハ林地土壤 二「キログラム」

三 窒素又ハ磷酸吸收力ノ檢定ノ爲ニスル分析

苗圃土壤又ハ林地土壤 二「キログラム」

四 比重及硬度、發火點及發熱量又ハ發熱溫度及其ノ保持時間ノ試験

木炭又ハ代用炭 二「キログラム」

五 吸水力及吸濕力、瓦斯吸着力又ハ脱色力ノ試験

木炭 一「キログラム」

六 比重、粘度、凝點、融點、屈折率、旋光度、沃素價、酸價若ハ鹼化價ノ試験又ハ酸若ハ「アルカリ」ノ作用ノ試験

林産物又ハ林産製造品タル油脂、蠟又ハ精油五百「グラム」

七 實重及效率鑑定

林業用種子 小粒種子

サハラ、ネズコ、ハゲシバリ、ハンノキ、カバ等 三十「グラム」

ヒノキ、ヒバ、ツガ等 五十「グラム」

スギ、カラマツ等 七十五「グラム」

アララギ、アカマツ、クロマツ、タウヒ、モミ、カウヤマキ、ケヤキ等 百「グラム」

ニセアカシヤ、ネム、ミヅキ等 百五十「グラム」

大粒種子

クス、サクラ、ウルシ、ハセ、カヘデ、ヤチダモ等 千粒

ヒメコマツ、テウセンマツ、アナ、ホホノキ等 六百粒

カヤ、カシ等 四百粒

クリ、クヌギ、ナラ、カシハ、アブラギリ、ツバキ等 三百粒

クルミ、トチ等 二百粒

八 應曲力ノ試験



- 一 品名
- 二 數量
- 三 産地名又ハ製造地名及製造者名
- 四 分析ノ種別
- 五 定性又ハ定量分析ノ場合ニ於テハ檢出スヘキ成分

年 月 日  
住所  
氏  
名 (名稱) 印  
林業試験場長 殿

注意  
依頼書ハ一件毎ニ之ヲ作成スヘシ

第二號  
林業用種子鑑定依頼書

此處ニ收入  
印紙ヲ貼附  
シ消印スヘ  
カラス  
貼附シタル收入印紙ノ額

一 品名及番號

- 二 數量
- 三 鑑定ヲ要スル事項
- 四 供試品發送ノ日附及送達ノ方法
- 五 供試品ノ剩餘ノ返還ノ要否
- 六 参考事項

(一) 産地名  
(二) 採取年月日  
(三) 供試品ヲ採取シタル種子ノ總量  
(四) 何々  
年 月 日  
住所  
氏  
名 (名稱) 印  
林業試験場長 殿

注意  
依頼書ハ一件毎ニ之ヲ作成スヘシ

林業試験場長

此處ニ收入  
印紙ヲ貼附  
シ消印スヘ  
カラス

貼附シタル收入印紙ノ額

第三號

試驗 (鑑定) 依頼書

- 一 品名
- 二 數量
- 三 産地名又ハ製造地名及製造者名
- 四 試驗 (鑑定) ヲ要スル事項

年 月 日  
住所  
氏  
名 (名稱) 印  
林業試験場長 殿

注意  
依頼書ハ一件毎ニ之ヲ作成スヘシ

第四號

封緘依頼書

此處ニ收入  
印紙ヲ貼附  
シ消印スヘ  
カラス

貼附シタル收入印紙ノ額

- 一 品名及番號
- 二 封緘スヘキ包裝筒數及各包裝ノ容量

年 月 日  
住所  
氏  
名 (名稱) 印  
林業試験場長 殿  
林業用種子鑑定ニ關スル注意

一 供試品ノ採取 供試品ハ周密ニ混和シタル種子ノ總量ノ中ヨリ種子採取杖又ハ其ノ他ノ方法ニ依リテナルヘク多クノ個所ヨリ採取シタル少量ノ種子ヲ更ニ能ク混和シタルモノノ中ヨリ分取スヘシ  
種子ノ總量ヲ混和スルコト能ハサル場合若ハ之ヲ行ヒ難キ場合ニハ各容器ノ上部中部及下部ヨリ抽出シ又ハ種子ノ採取杖ヲ以テ採取シタル少量ノ種子ヲ更ニ能ク混和シタルモノノ中ヨリ供試品ヲ分取スヘシ但シ各容器ノ容量異ナル場合ニハ其

ノ容量ニ比例セル量ヲ各容器ヨリ採取スルヲ要ス

一 供試品ノ送達 供試品ハ送達ノ途中ニ於テ脱失又ハ乾燥、吸濕、醱酵等ノ爲品質ニ變化ヲ及ホササル様完全ナル包装ヲ爲スヘシ

一 實重 實重ハ大粒種子ニ在リテハ百粒小粒種子ニ在リテハ千粒ノ純正種子ノ重量ヲ「グラム」ニテ示スモノナリ

一 効率 効率ハ純量率ト發芽率トノ相乗積ヲ以テ之ヲ示スモノナリ

純量率ハ供試品中ニ混在セル皮殻、樹脂、土砂、異種子及其ノ他ノ夾雜物ヲ除キタル純正種子ノ重量ヲ總重量ニ對スル百分率ヲ以テ示スモノナリ

發芽率ハ林業試驗場ニ於テ規定セル試驗方法ニ依リ實際ニ發芽シタルモノ又ハ確實ニ發芽スヘキ見込アルモノヲ供試數ニ對スル百分率ヲ以テ示スモノナリ

一 封緘及其ノ様式 省令第二條ニ定メタル分量ノ供試品ニ依リテ行ヒタル鑑定ノ效果ハ供試品採取ノ方法カ適當ナル場合ニハ供試品ヲ採取シタル種子ノ全量ニ及フヘキモノナルモ若シ然ラサル場合ニハ唯其ノ供試品ノミニ限定セラルヘシ省令

第三條ハ前記ノ缺點ヲ除キ鑑定ノ效果ヲ其ノ種子ノ全量ニ及ホサシメンカ爲ニ設ケタル規定ナリ即チ鑑定依頼者カ種子ノ全量ヲ林業試驗場ニ提供シ其ノ封緘ヲ依頼スルコトアルトキハ林業試驗場ハ規定ノ方法ニヨリ此ノ中ヨリ供試品ヲ採取シタル後次記様式ニ依リ各包装毎ニ封緘ヲ行ヒ其ノ封緘セラレタル種子カ林業試驗場ヨリ交附スル鑑定書第何號ニ該當スルモノナルヤヲ證明スルモノナリ但シ此ノ場合種子ノ品質ハ鑑定後時日ヲ經過スルニ從ヒ變化スルモノナルヲ以テ證票ニ記載セル年月日ニ特ニ注意スルヲ要ス

様式 離形乙ノ證票ヲ容器内ニ入レ離形甲ノ封緘ヲ包装ノ要部ニナス



材料 鉛

直径 一、三「センチメートル」

證

昭和 年 鑑第 號 林業用種子鑑定書ニ該當スル種子タルコトヲ證ス

乙 形 離  
第 和 年 月 日

林業試験場印

省令第三條ニハ封緘ヲ爲スヘキ一包装ノ數量ヲ規定シ一件トシテ依頼スヘキ數量ニ對スル規定ナキモ封緘スヘキ種子多量ナル場合ニハ二百「リットル」乃至四百「リットル」毎ニ分割シ各々ニツキ鑑定ヲ依頼スルヲ可トス

封緘依頼種子ノ荷造及包装ハ依頼者若ハ其ノ代理者之ヲ爲スヘシ但シ依頼者ヨリ林業試驗場ニ其ノ代理者ノ斡旋ヲ依頼スル場合ニハ之ニ應スルコトアルヘキモ之ニ對シ一切ノ責任

セサルモノトス

一 鑑定ニ要スル日數 鑑定ニ要スル日數ハ鑑定依頼書及供試品受領後、實重ニ在リテハ十日以上、効率ニ在リテハ二十日以上トス

林業試験場林産物受託加工規則(昭和十一年七月二十九日農林省令第十七號)

第一條 林業試験場ニ林産物ノ加工ヲ依頼セントスル者ハ様式

第一號ニ依リ申請書ヲ提出スヘシ

第二條 前條ノ依頼ニ應スル場合ニ於テハ林業試験場長ハ左ニ

掲クル事項ヲ定メ之ヲ申請者ニ通知シ現品ヲ提出セシムヘシ

一 品名及數量

二 現品提出期間

三 引渡豫定期間

四 其ノ他必要ト認ムル事項

第三條 林業試験場長ハ提出アリタル現品ノ全部又ハ一部ニ付加工ノ依頼ニ應スルコト能ハサルモノアリト認メタル場合ニ於テハ其ノ事由ヲ附シ現品ノ全部又ハ一部ヲ返還スヘキ旨ヲ申請者ニ通知スヘシ

申請者ハ前項ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ二週間内ニ返還ノ請求

ヲ爲スヘシ此ノ場合ニ於テ返還ニ要スル費用ハ申請者ノ負擔トス

第四條 加工ノ依頼ニ應スル數量確定シタルトキハ林業試験場長ハ其旨ヲ申請者ニ通知シ様式第二號ニ依ル依頼書ヲ提出セシムヘシ

第五條 依頼書ノ提出アリタルトキハ林業試験場長ハ依頼書ニ貼附シタル收入印紙ニ消印ヲ押印ス

第六條 申請者現品ノ提出ヲ爲シタル後ハ加工ノ申請又ハ依頼ノ取消ヲ申出ツルコトヲ得ス

第七條 申請者ハ加工品ノ數量又ハ品質ニ付異議ヲ述フルコトヲ得ス

第八條 加工品ノ送達ニ要スル費用ハ申請者ノ負擔トス

第九條 本則ニ依リ依頼ニ應スル加工ノ種別ハ林業試験場長之ヲ定ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

様式第一號

林産物加工申請書

一 品名

二 數量

三 加工ノ種別

四 現品提出期間並方法

五 加工品ノ引渡ヲ受ケントスル期間

六 参考事項

(イ) 産地及樹種名

(ロ) 採取時期 自(何)年(何)月 至(何)年(何)月

(ハ) 何々

右ノ通加工依頼致度林業試験場林産物受託加工規則承諾ノ上此段及申請候也

年 月 日

住 所

氏

名 (名稱) 印

林業試験場長宛

様式第二號

林産物加工依頼書

此處ニ收入印紙ヲ貼附シ消印スベカラズ 貼附シタル收入印紙ノ額

一 品名

二 數量

三 加工ノ種別

四 加工品ノ送達ヲ受クヘキ場所

右ノ通加工依頼致度林業試験場林産物受託加工規則承諾ノ上此段及願候也

年 月 日

住 所

氏

名 (名稱) 印

林業試験場長宛



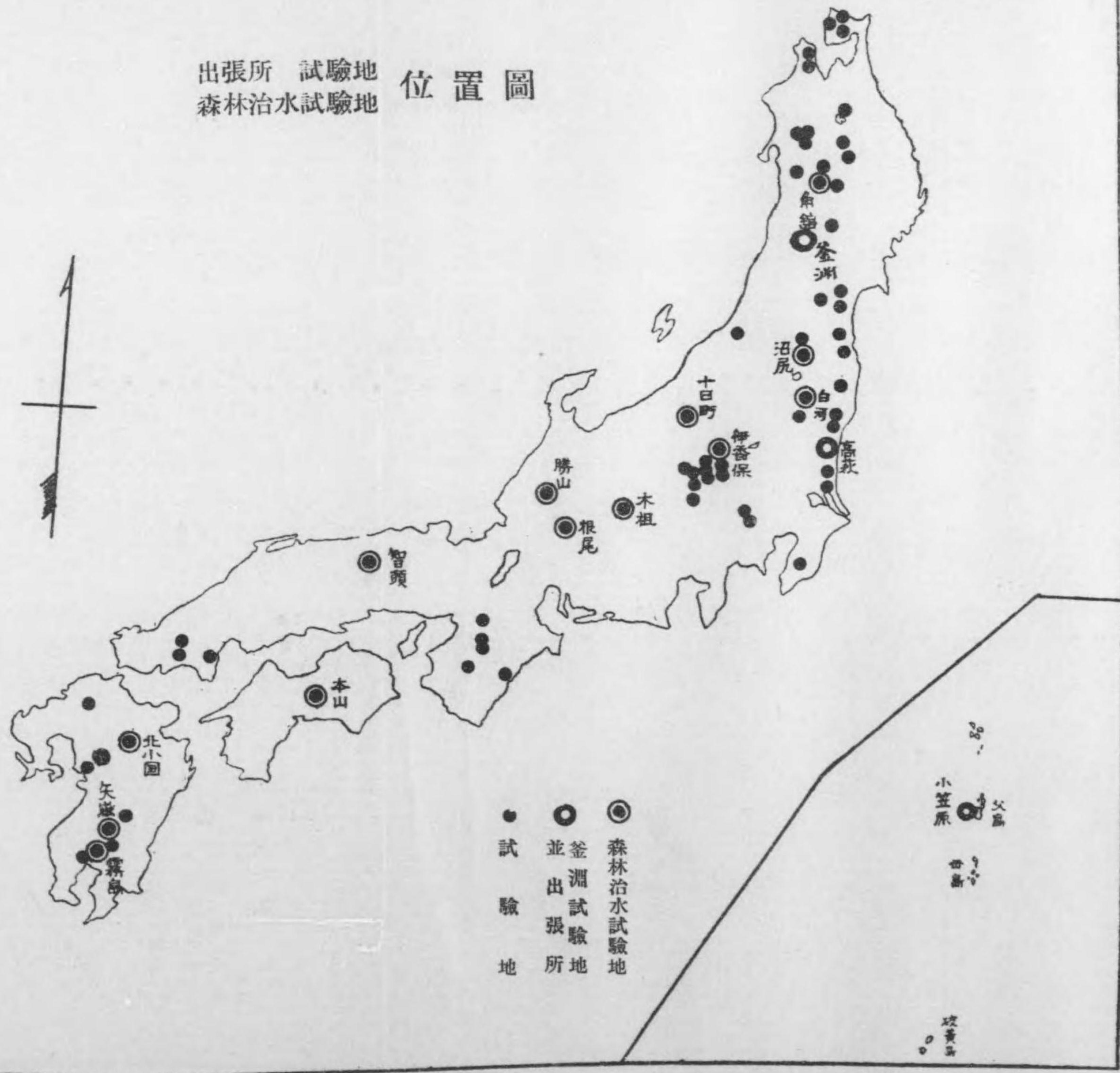
# 林業試驗場構內圖

面積拾五町壹反壹畝八步

縮尺二千五百分之一



出張所 試驗地 位置圖  
 森林治水試驗地







昭和十二年三月二十八日印刷  
昭和十二年三月三十一日發行

# 農林省林業試驗場

東京市豊島區巢鴨一丁目三番地

印刷者 米田眞二

印刷所 東京市豊島區巢鴨一丁目三番地  
合資 改洋社  
會社

14.2  
768

終